

第一編 警務 第七章 召集及報告

第八	災害其ノ他ノ事故	同	同
第九	棄兒	同	同
第一〇	巡查恩給	同	同
第一一	巡查療治料給助料及弔祭料給與	同	同
第二二	市街地建築物法處分事件(自一月至十二月)	七月十五日翌年一月十五日限	
第二三	市街地建築物法關係取扱建築物	翌年三月末日限	
第二四	市街地建築物法關係申請届受理件數	同	
第三九	警察職員、官署及設備		
(一)	警察官吏員	翌年一月末日限	
(二)	警察官吏現在員	同	
(三)	警察官吏勤績年數	同	
(四)	警察官吏年齡	同	
(五)	警部俸給	同	
(六)	警部補、巡查俸給	同	
(七)	警察官吏配置(警部補以上)	同	
(八)	巡查配置	同	
(九)	警察官吏異動	同	
(一〇)	巡查一人當受持	同	
(一一)	警察、消防官吏ニ非ザル廳府縣警察職員現在員	同	
(一二)	警察賞與(其ノ一)警察事務ニ従事スル者	同	

〔山梨警〕

(一三)	同上(其ノ二)職務ノ爲メニスルニ非ザル者	同	
(一四)	警察官吏職務上ノ傷疾疾病(附組員等警察上ノ死傷)	同	
(一五)	警察官吏懲戒	同	
(一六)	巡查志願者及採用年齡	同	
(一七)	採用巡查教育程度	同	
(一八)	採用巡查職業	同	
(一九)	警察官吏練習	同	
(二〇)	警察ニ關スル重要設備	同	
(二一)	警察官署其ノ他	翌年一月末日限	
(二二)	保安		
(一)	消防組	翌年二月末日限	
(二)	消防組重要機械器具	同	
(三)	特設消防機械器具表	同	
(四)	違警罪即決處分及正式裁判數	同	
(五)	行政執行法第一條ニ依ル處分	同	
(六)	興行場	同	
(七)	遊廓	同	
(八)	藝妓年齡	同	
(九)	警察取締營業者	同	
(一〇)	自動車運轉者	同	
(一一)	自動車就業免許者	同	
(一二)	普通自動車	同	
(一三)	特殊自動車	同	

〔山梨警〕

(一二)	小型自動車	同	
(一三)	諸車	同	
(一四)	交通事故	同	
(一五)	遺失物及拾得物	同	
(一六)	密賣淫檢舉人員及健康診斷結果	同	
(一七)	未成年者喫煙禁止法及飲酒禁止法違反	同	
第四一	警察豫算及給與		
(一)	警察費豫算	四月一日限	
(二)	特設消防經費	同	
(三)	警部補巡查費	同	
(四)	警部補巡查月俸其ノ他平均	同	
(五)	巡查特別手当支給人員及平均月額	同	
第四二	銃砲火藥類取締		
(一)	火藥類爆發ノ災害事故	翌年三月末日限	
(二)	火藥類盜難件數	同	
(三)	火藥類盜犯檢舉件數	同	
(四)	火藥類盜犯人ノ職業別及盜取目的別	同	
(五)	銃砲火藥類取締法令違反	同	
(六)	火藥類爆發盜難以外ノ事故	同	
(七)	銃砲製造高	同	
(八)	銃砲販賣高	同	
第一編 警務 第七章 召集及報告			

(九)	火藥類製造高	同	
(一〇)	火藥類販賣高	同	
(一一)	火藥類消費數量	同	
(一二)	仕込刀劍其ノ他變裝武器製造高	同	
(一三)	仕込刀劍其ノ他變裝武器販賣高	同	
(一四)	火工品其ノ他作業所數	同	
(一五)	拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍其ノ他携帶者	同	
(一六)	火藥類輸出入數量	同	
第四三	壓縮瓦斯及液化瓦斯取締		
(一)	壓縮瓦斯及液化瓦斯製造事業	翌年三月末日限	
(二)	壓縮瓦斯及液化瓦斯製造量	同	
(三)	壓縮瓦斯及液化瓦斯貯藏所數	同	
(四)	壓縮瓦斯及液化瓦斯販賣業者	同	
(五)	作業主任者免狀下付	同	
(六)	壓縮瓦斯及液化瓦斯製造業者所有容器	同	
(七)	壓縮瓦斯及液化瓦斯災害	同	
(八)	壓縮瓦斯及液化瓦斯法令違反	同	
第四四	自動車	九月末日限	
第四五	自動車轉車	同	
第四六	自動車運轉手	翌年三月末日限	
第四七	諸車	同	

第一編 警務 第七章 召集及報告

第四八	警察職員	同
第四九	警察職員兵役關係者	同
第五〇	警察官昇配置圖	同
第五一	警察電話回線圖	同
第五二	消防職員	同
第五三	消防職員兵役關係者(警視廳官制ニ依ルモノ)	同
第五四	消防職員兵役關係者(特設)	同
第五五	消防職員兵役關係者(公設)	同
第五六	消防機關配置圖	同
第六三	水道 其ノ一	翌年度四月末日限
第六四	水道 其ノ二	翌年度六月末日限
第六五	下水道	同
第六九	傳染病患者死者	翌年一月末日限
第七〇	中毒	翌年二月末日限
第七一	牛乳	同
第七二	山羊乳	同
第七三	清涼飲料水	同
第七四	氷雪	同
第七五	屠場及屠畜	同
第七六	内地産獸毛消毒成績	同
第七七	飲食物其ノ他ノ物品検査成績	同

〔山梨縣〕

第七八	汚物掃除	同
第七九	埋火葬	同
第八〇	結核療法ニ依ル健康診断成績	同
第八一	トラホーム検査成績	同
第八二	娼妓健康診断	同
第八三	精神病者	同
第八四	細菌検査所	同
第八五	海港検査	同
第八六	種痘成績	同
第八七	醫師	同
第八八	齒科醫師	同
第八九	藥劑師	同
第九〇	藥局	同
第九一	藥業者	同
第九二	産婆	同
第九三	看護婦及看護人	同
第九四	鍼術、灸術、按摩術業者	同
第九五	公立病院	同
第九六	私立病院	同
第九七	施療病院	同
第九八	娼妓病院	同
第九九	結核病院(結核療養所ヲ含ム)	同
第一〇〇	精神病院	同

第一〇一	代用花柳病診療所	同
第一〇二	傳染病豫防法ニ依ル傳染病院、隔離病舎、隔離所及消毒所	同
第一〇三	瘰癧養所(瘰癧院ヲ含ム)	同
第一〇三(一)	病院ニ非ザル診療所	同
第一〇三(二)	病院ニ非ザル診療所	同
第一〇三(三)	病院ニ非ザル齒科診療所	同
第一〇四	賣藥	同
第一〇五	賣藥検査成績	同
第一〇六	藥品巡視成績	同
第一〇七	何レノ藥局方ニモ記載ナキ藥品又ハ	同

一 事務報告書式

第五一	貯藏所、汽罐等ノ爆發事故	(何年何月何日)	報告期即日	廳名
爆發	發料品ノ名稱			
爆發	發ノ原因			
市街地建築物法ニ依ル地域名				
損害	害見種額			
爆發ニ因ル附近被害ノ程度				

一 本表ハ貯藏所(危險料品汽罐(其ノ他内壓力ヲ有スル容器ヲ含ム)等ノ爆發ニ付調査スベシ)記載例

爆發品ノ名稱
 爆發ノ原因
 市街地建築物法ニ依ル地域名
 損害見積額
 爆發ニ因ル附近被害ノ程度

煙火
 自然發火
 工業地域
 約五萬圓
 建坪約六〇平方メートルノ家居倒潰附近三百五十メートル四方ノ硝子戸破壊

報告期十日以内

第五二 「災取調」 (年 月 日分)

市町村名	人			世帯						家			屋			焼失面積	損害見積額	
	死	傷	不明	全潰	半潰	流失	床上浸水	床下浸水	計	區別	全潰	半潰	流失	床上浸水	床下浸水			計
合計																		
考 備	一 本表ハ罹災世帯百世帯以上(都市計畫區域内ニ在リテハ二十戸以上)又ハ特ニ注意ヲ要スト認メラル、水地震災其ノ他ノ災害ニ關スル取調 様式トス但シ森林火災又ハ特殊建築物ノ災害等ニシテ本表ニ依ルノ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得 二 本表ハ官房都市計畫課、警保局、社會局ヘ各一通宛報告スヘシ但シ特ニ注意ヲ要スル災害ノ場合ノ外被害百世帯未滿ノ場合ハ官房都市計																	

三 畫課ノミ一通報告スベシ
 四 埋没等アリタル場合ハ適宜其ノ欄ヲ增加スベシ
 五 市郡町村ノ欄ニハ大災害ニシテ其ノ被害ノ廣大ナル場合ハ單ニ市郡名ノミヲ記入シ、市郡内一部ノ災害ニ係ル場合ハ市郡町村名ヲ記入スベシ
 六 本表備考欄ニ左記事項ヲ記入スヘシ但シ燒失區域圖ハ可成陸地測量部縮尺大ナル圖面ニ當時ノ風向及火元ヲ明示スベシ

一 出火原因
 二 火元戸主ノ職業
 三 市街地建築物法ニ依ル地域名
 四 燒失區域圖
 五 罹災地ニ對スル處置(例 整理事業計畫中又ハ建築線ヲ指定スル爲目下調査中若ハ關係土地所有者ニ對シ土地區劃整理ノ施行方ヲ豫定中等)

記載例

- 第一項 世帯數
- 一 世帯數ハ普通世帯及準世帯ノ數ヲ記入スベシ
 - 二 普通世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ
 一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦同シ
 - 三 寄宿舎、病院、旅店、下宿屋其ノ他家計ヲ共ニセザル者ノ集合スル場屋ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセザルモノハ一場屋毎ニ一世帯ニ準ズ
 - 四 一世帯ニ屬スル建物カ母屋、離屋、納屋又ハ物置等數棟ニ互ル場合ニ於テ其ノ内ノ一棟ノミ罹災シタル場合ト雖モ罹災世帯數中ニ記入スベシ
 - 五 前號ノ場合ヲ除クノ外非現住ノ住家、非住家等ニ付テハ罹災世帯數トシテ記入セズ單ニ家屋被害欄ニノミ記入スベシ
- 第二項 住家
- 住家トシテ算スベキモノハ大要左ノ如シ
- 一 人ノ居住ニ充ツル目的(現住、非現住ヲ問ハス)トスル建物
 - 二 人ノ收容ヲ目的トスル建物及之ニ準ズベキモノ
- (一) 官公署廳舎

- (一) 學校、圖書館
- (二) 神社、佛閣(堂守其ノ他ノ監守者アルモノ)
- (三) 教會、説教所ノ類
- (四) 公會堂其ノ他公共ノ用ニ供セラル、建物
- (五) 銀行、會社、法人等ノ事務所又ハ營業所
- (六) 工場
- (七) 娛樂場建物
- (八) 停車場建物
- (九) 病院
- (一〇) 寄宿舎

第三項 非住家

非住家トシテ算スベキモノ大要左ノ如シ

- 一 倉庫、土蔵、車庫
- 二 納厩、物置
- 三 稽留上屋
- 四 神社、佛閣(堂守其ノ他ノ監守者ナキモノ)

第四項 全半燒

全半燒ノ區別標準ハ大要左ノ如シ

- 一 可燃性物ヲ主要材料トスル建物
修補(小修繕ニテ足ルモノヲ除ク)ニ依リ再使用ニ堪フル程度ノ燒失ヲ半燒、再使用ニ堪ヘザル程度ノ燒失ヲ全燒トス
- 二 不燃性物ヲ主要材料トスル建物
不燃性ノ部分ヲ除キタル他ノ部分(雜作、家具、商品等)カ三分ノ二以上燒失シタルトキヲ全燒、右ニ達セザル燒失ヲ半燒トス但シ三

第五項 全半潰

分ノ二以下ノ燒失ナルモ罹災ニ依リ建物カ修補ニ依ルモ再使用ニ堪ヘザルニ至リタルトキハ全燒トス

一 世帯ニ屬スル建物數棟ニ互ルトキハ世帯ノ全半燒ハ其ノ住居ニ充ツル主タル建物ノ全半燒ノ別ニ依ル

第六項 棟數

全半潰ノ區別標準ハ大要左ノ如シ

一 修補(小修繕ニテ足ルモノヲ除ク)ニ依リ使用ニ堪ヘ得ル程度ノ倒潰ヲ半潰、使用ニ堪ヘザル程度ノ倒潰ヲ全潰トス

二 一世帯ニ屬スル建物數棟ニ互ルトキハ世帯ノ全半潰ハ其ノ住居ニ充ツル主タル建物ノ全半潰ノ別ニ依ル

第七項 損害見積額調査範圍

本表ニ掲グル損害見積額ハ通例左記範圍ニ付調査スベシ

道路、橋梁、河川、堤防、上下水道、田畑等ノ損害額ハ之ヲ除クベシ

一 建物

二 家財(官公署會社等ノ什器、什物、工場ノ設備ヲ含ム)

三 商品、在庫品

四 農作物

五 現金、有價證券(有價證券ニシテ再發行可能ノモノヲ除ク)

六 森林

第八項 損害見積額ノ算定

- 一 建物ニ付テハ全燒又ハ全潰ノ場合ハ建坪ニ依リ災害當時ノ時價ヲ標準トシテ計算シ半燒又ハ半潰ノ場合ハ災害前有セシ價格ヨリ災害後殘存セル價格ヲ差引タル差額ヲ掲グベシ
- 二 家財、商品、在庫品、農作物、有價證券ニ付テハ時價ニ依ルベシ
- 三 森林ニ付テハ災害前有セシ價格ヨリ災害後ニ殘存セル價格ヲ差引キタル差額ヲ掲グベシ

報告期翌年度五月底限

第六二

藥用阿片受拂

(何年度)

廳名

區 別	受	入	高	拂	下	高	殘	高
	前年度	本年度	計	計	計	計	計	計
五瓦入	五瓦入	五瓦入	五瓦入	五瓦入	五瓦入	五瓦入	五瓦入	五瓦入
二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入	二五瓦入
四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入	四五百五十瓦入

二 統計報告様式

報告期翌年二月二十日限

第一 犯罪 (何年)	罪名	本年事件	發生	件	數	管內事件	檢	舉	件	數	備考
		前年以前ノ事件	計	管外事件	計	計	計	計			
第一章 皇室ニ對スル罪											
第二章 内亂ニ關スル罪											
第三章 外患ニ關スル罪											
第四章 國交ニ關スル罪											

第五 章 公務執行妨害罪	第六 章 逃走罪	第七 章 犯人藏匿證憑湮滅罪	第八章 騒擾罪	第九章 (1) 放火罪	(2) 失火罪	(3) 其他	第十章 淫水水利ニ關スル罪	第十一章 往來ヲ妨害スル罪	第十二章 住居ヲ侵スル罪	第十三章 秘密ヲ侵スル罪	第十四章 阿片煙ニ關スル罪	第十五章 飲料水ニ關スル罪	第十六章 通貨偽造ノ罪	第十七章 文書偽造ノ罪	第十八章 有價證券偽造ノ罪	第十九章 印章偽造ノ罪	第二十章 偽證ノ罪	第二十一章 誣告ノ罪	(1) 殺害罪	(2) 殺害物罪

第二十二章	(3) 強姦 (致死傷ヲ含ム) 罪	(4) 姦通 罪	(5) 重婚罪 其ノ他	(1) 普通賭博 罪	(2) 常習賭博 罪	(3) 富籤 罪	第二十三章	第二十四章	禮拜所及墳墓ニ關スル罪	(1) 職權濫用 罪	(2) 賄賂 (致死傷ヲ含ム) 罪	(1) 殺 (除嬰兒殺) 罪	(2) 殺 (除嬰兒殺) 罪	(3) 殺 (除嬰兒殺) 罪	(4) 自 (殺人豫備ヲ含ム) 殺ニ關スル罪	(1) 傷害 罪	(2) 傷害 致死 罪	(3) 單純暴行 罪	(1) 過失傷害 致死 罪	(2) 過失傷害 致死 罪	(3) 業務上過失致死傷 罪	第二十八章	第二十七章	(1) 傷 害 罪	(2) 傷 害 致死 罪	(3) 單純暴行 罪	(1) 遺棄 罪	第二十九章	遺棄 罪	第三十章	逮捕 監禁ノ罪	第三十一章	脅迫ノ罪	第三十二章	略取及誘拐ノ罪	第三十三章	名譽ニ對スル罪	第三十四章	信用及業務ニ對スル罪	第三十五章	(1) 竊盜 罪	(2) 強盜 殺人 罪	(3) 強盜 傷人 罪	(4) 強盜及準強盜罪 (其ノ豫備ヲ含ム) 詐欺及準詐欺罪	(1) 背任 罪	(2) 恐喝 罪	(3) 橫領 罪	(1) 業務上橫領 罪	(2) 占有離脫物橫領 罪	(3) 其他 罪	第三十九章	贓物ニ關スル罪	第一編 警務 第七章 召集及報告
-------	-------------------	----------	-------------	------------	------------	----------	-------	-------	-------------	------------	-------------------	----------------	----------------	----------------	------------------------	----------	-------------	------------	---------------	---------------	----------------	-------	-------	-----------	--------------	------------	----------	-------	------	------	---------	-------	------	-------	---------	-------	---------	-------	------------	-------	----------	-------------	-------------	-------------------------------	----------	----------	----------	-------------	---------------	----------	-------	---------	------------------

法

第二十九章	遺棄 罪	第三十章	逮捕 監禁ノ罪	第三十一章	脅迫ノ罪	第三十二章	略取及誘拐ノ罪	第三十三章	名譽ニ對スル罪	第三十四章	信用及業務ニ對スル罪	第三十五章	(1) 竊盜 罪	(2) 強盜 殺人 罪	(3) 強盜 傷人 罪	(4) 強盜及準強盜罪 (其ノ豫備ヲ含ム) 詐欺及準詐欺罪	(1) 背任 罪	(2) 恐喝 罪	(3) 橫領 罪	(1) 業務上橫領 罪	(2) 占有離脫物橫領 罪	(3) 其他 罪	第三十九章	贓物ニ關スル罪	第一編 警務 第七章 召集及報告
-------	------	------	---------	-------	------	-------	---------	-------	---------	-------	------------	-------	----------	-------------	-------------	-------------------------------	----------	----------	----------	-------------	---------------	----------	-------	---------	------------------

損害見積額(圓)	人			
	死	傷	行	合

一 本表ハ「災取調表記載例ニ依ルベシ
二 不審火燭ニハ原因不明ノモノヲ掲ケ其ノ他欄ニハ失火放火ニ非ズシテ原因 判明セルモノ例ヘバ落雷、立木ノ摩擦、藥品、漏電、燐等ノ
自然發火ニ因ルモノヲ掲ケベシ
三 延燒不延燒ノ區別
自家ヨリ發火シ他家ニ燒ケ移リタル場合ヲ延燒トシ自家ヨリ發火シ自家構内ノ家屋ニ燒ケ移リタルモ他家ニ燒ケ移ラザル場合ヲ不延燒ト
シ
(イ)ス
出火世帯(非現住ノ住家及非住家ニ在リテ)ヨリ他ノ世帯(又ハ場屋)ニ燒ケ移リタル場合ハ延燒トシ出火世帯(又ハ場屋)ノヨリ燒失ニ
止マルチ不延燒トス但シ貸間、下宿屋、寄宿舍等出火世帯(又ハ場屋)ト同一開口又ハ同一構内ニ在ル普通世帯、準世帯(又ハ場屋)ハ
右ノ場合ニ限リ之ヲ出火世帯ト同一世帯(又ハ場屋)ト看做ス
「ビルディング」、「アパートメント」又ハ之ニ類スル建物内ニ於テ甲世帯(又ハ甲室)ヨリ乙世帯(又ハ乙室)ニ燒ケ移リタル場合亦イ但
書ニ準ジ之ヲ不延燒トス
(ハ)ス
山林ヨリ世帯(又ハ場屋)ニ燒ケ移リタル場合ハ之ヲ不延燒トス但シ其ノ世帯(又ハ場屋)ヨリ更ニ他ノ世帯ニ燒ケ移リタル場合ハ之ヲ延燒ト
ス
四 傷ノ程度ハ相當醫療ヲ要スベキモノニ付調査スベシ
五 消防ノ爲メ家屋ヲ破壊セル場合全壞ハ全燒ノ欄ニ半壞ハ半燒ノ欄ニ夫々「X」印ヲ附シ外書スベシ
六 損害見積額ニシテ圓以下ノ端數ハ各項ニ於テ四捨五入ノ法ヲ用キ圓位ニ止ムベシ

報告期翌年二月二十日限

失 火 原因	原		因												縣名								
	火 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火	火 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火	何年)																				
			別																				
			一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		計							
火 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火 火	市街地	村落地																					

煙	瓦		汽 車 ノ 煤 煙	突		煙 過 熱	煙 草 吸 殻	佛 寸
	ス ト ー ア	瓦 斯 漏		飛 火	破 損			
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

火 標 幟 燭	神 佛 燈 明	提 燈	ラ ン プ	末		取 灰	ス ト ー ア	不 〃
				其 ノ 他	黃 火			
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

薬品	弄火	線香	煙火	火薬類 (煙火ヲ除ク)		活動寫眞フィルム	セルロイド		火其他	引料
				一	二		三	四		
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

石油類	ガソリン	其他	燭燭	行火、炬燵	電燈	漏電	新	
							其	他
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

シ又ハ負債償却ニ 困シテ	雇主又ハ父兄等ノ 懲戒又ハ誹責ニ因 リ	親又ハ夫妻等ノ 不行狀ヲ歎テ	離縁ヲ悲ミテ		私通姪姪ヲ憂テ		結婚ヲ忌ミテ		失戀ニ因リ		身體ノ不具ナルヲ 歎テ		嘗愛ニ因リ	
			未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂

親又ハ夫妻等ノ 死亡ヲ歎テ	親又ハ夫妻等ノ 病氣ヲ苦ニシテ	淫逸放蕩ノ末		老衰身ノ不自由ヲ 苦慮シテ		厭世ニ因リ		宗教其ノ他ノ迷信 ニ因リ		兵役ニ服セラレザ ルヲ歎テ		兵役ヲ忌避シテ		試験ノ結果又ハ入	
		未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂

合計	不詳		其ノ他		失業ノ結果		責任親ニ因リ		悪事ヲ苦慮シテ
	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂

一 本表ハ第四自殺者(月別及所爲)ノ員數ト符合スベキモノトス
 二 外國人ニ係ル事實アルトキハ本表ニ準シ國籍別ニ區別シ別ニ調査スベシ

報告期翌年二月二十日限

種別	第六 自殺者(住所及職業上ノ關係)		市		町		村		不詳		計	
	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	
	婚者											
未婚者												
男												
女												
男												
女												
男												
女												

合計	不詳		喪配偶者		離婚者		有配偶者	
	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	

一 本表ハ第四自殺者(月別及所爲)ノ員數ト符合スベキモノトス
 二 外國人ニ係ル事實アルトキハ本表ニ準シ國籍別ニ區別シ別ニ調査スベシ

報告期翌年二月二十日限

種別	第七 被殺傷者		死		負傷		計	
	未既	未既	未既	未既	未既	未既	未既	
男								
女								
男								
女								
男								
女								

盗 賊 ノ 爲
 怨 恨 ニ 因リ
 爭 論 上 又 ハ 一 時 ノ 怒 ニ 因リ
 賭 博 上 ノ 争 ニ 因リ
 利 慾 上 ノ 爲

合計	不詳	其他	時形兒ナルガ爲	家庭ノ不和ニ因リ	不義ノ兒ナルガ爲	自殺ノ途連トシテ	人逃ニテ	正當防衛ニ因リ	痴情又ハ嫉妬ニ因リ	貧困ニ因リ	瘋癲人ノ爲	暴行人又ハ醉狂人ノ爲	捕ヲ拒ミ又ハ暴行セシニ因リ

一 本表ハ故意ニ因ルモノヲ記入スベシ
 二 警察上ニテ死傷セシ者モ本表ニ記入スベシ
 三 棄テアリシ幼兒ニシテ他殺ノ痕跡アルトキハ棄兒表ニ記入セズシテ本表中相當ノ項ヘ記入スベシ
 四 外國人ニ係ル事實アルトキハ本表ニ準シ國籍別ニ區別シ別ニ調製スベシ

報告期翌年二月二十日限

種別	死		傷		計	處名
	男	女	男	女		
洪水						
海嘯						
船舶						
火災						
地震						
落雷						
火山ノ噴火ニ因リ						
火藥類爆發						
瓦斯爆發						
積雪ニ壓セラレ又ハ凍ヘテ						
土石崩壞						
樹木顛倒又ハ潰屋等ニテ						
牛馬犬						

工業上																	
計	其ノ他	火傷(熱湯ヲ含ム)	窒息	火傷(熱湯ヲ含ム)	墜落	物體ノ倒壊、落下又ハ壓セラレテ	感電	ベルト	機械	運搬車等	藥品類爆發	汽罐爆發	瓦斯爆發	火藥類爆發	計	其ノ他	火傷(熱湯ヲ含ム)
	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑
	外	内	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外

礦業上												
計	其ノ他	火傷(熱湯ヲ含ム)	墜落	落盤	運搬車等	機械	感電	墜落	瓦斯爆發	火藥類爆發	計	其ノ他
	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑	坑
	外	内	外	外	外	外	外	外	外	外	外	外

交通上 ニテ			機 械				銃	水 泳	河、海、池、沼、井、溝等ニ 落テテ	便池又ハ肥料溜ニ落テテ 斷崖屋上其ノ他高所ヨリ墜落 シテ					
汽 車	電 車	自 動 車	特 種 自 動 車	自 轉 車	荷 牛 車	荷 馬 車	其 ノ 他 諸 車	航 空 機	船 舶 ノ 衝 突 又 ハ 顛 覆	機 械 ニ テ	電 機 ニ テ	銃 ニ テ	水 中 溺 レ テ	河、海、池、沼、井、溝等ニ 落テテ	便池又ハ肥料溜ニ落テテ 斷崖屋上其ノ他高所ヨリ墜落 シテ

物體ノ落下又ハ下敷ニテ	藥物誤用又ハ過飲ニテ	中毒ニ 飲 藥 品 其ノ他 飲 食 物	飲食物其ノ他ヲ咽喉ニ支ヘテ 乳房又ハ衣類等ニテ鼻口ヲ壓 シテ	火 傷(熱湯ヲ含ム)	飢 餓 ニ 因	其 ノ 他	不 詳	總 計

- 一 善察上ニテ死傷セシ者モ本表ニ記入スベシ
- 二 本表中被害者自己ノ過失ニ因リ生シタルモノハ「X」印ヲ以テ外書スベシ
- 三 負傷ハ醫療ヲ要スル程度ノモノニ付記入スベシ
- 四 外國人ニ係ル事實アルトキハ本表ニ準シ国籍別ニ區別シ別ニ調製スベシ

報告期限 二月二十日限

第九 棄兒 (何年) 廳名

種別	普通恩給		增加恩給		傷病年金	
	一定ノ年限在職シタル者	職務上傷疾ヲ受ケタル者	職務上傷疾ヲ受ケタル者	職務上疾病ニ罹リタル者	職務上傷疾ヲ受ケタル者	職務上疾病ニ罹リタル者
計	十二	十二	同	同	同	同
員	以上	以上	以上	以上	以上	以上
額						

第一〇

巡查恩給

(何年)

廳名

報告期翌年二月二十日限

一 棄テアリシ幼兒ニシテ他殺ノ痕跡アルトキハ本表ニ記入セズ第七被殺傷者表ニ記入スベシ

合計	年齢							計
	不詳	三	二	一	六	三	一	
	年	年	年	年	月	月	月	男
	以	未	未	未	未	未	未	女
	詳	上	滿	滿	滿	滿	滿	計
								男
								女

種別	扶助料		人員	金額	廳名
	職務上死亡シタル者 在職中死亡ノ者 職務上傷疾疾病ニシテ職 間ニ準ズベキモノ 恩給ヲ受ケタル者又ハ 受クベキ者 戦間ニ準ズベキモノニ非 ザルモノ 右二項ニ該當セザルモノ 不具廢疾ニシテ自活シ能ハザル二十歳 以上ノ者	計			
一時扶助料	療篤疾者ニシテ給與ヲ受ケタル者 遺族ニシテ給與ヲ受ケタル者	計			
計					

一 金額ノ四位ニ滿タザル端數ハ四捨五入ノ法ヲ用井單位ニ止ムベシ
 二 本表ハ大正十二年四月法律第十八號恩給法ニ依リ地方長官主管ニ屬スル巡査ニ關スル事實ヲ記入スベシ但シ警部補ニ係ル事實ハ「※」印ヲ付シ人員金額ヲ別記スベシ
 三 普通恩給、增加恩給、傷病年金及扶助料ハ年末現在ナリ一時恩給、一時扶助料ハ年中ノ調ヲ記入スベシ
 四 普通恩給、增加恩給、傷病年金、扶助料ノ金額ハ證書金額ヲ記入スベシ

報告期翌年二月二十日限

種別	給助料		人員	金額	廳名
	引續在職者 治療二十日以上ニ涉リタルモノ 遺職者	計			
第一一 巡査療治料給助料及弔祭料給與	弔祭料 職務上死亡 親族ニ 葬祭ヲ行フベキ者ニ 在職中死亡 同 計	計			
療治料	治療二十日ニ涉ラザルモノ 治療二十日以上ニ涉リタルモノ 計	計			
計					

一 金額ノ四位ニ滿タザル端數ハ四捨五入ノ法ヲ用井單位ニ止ムベシ
 二 本表ハ明治三十四年七月勅令第四百十九號巡査看守療治料、給助料及弔祭料給與令ニ依リ地方長官主管ニ屬スル巡査ニ關スル事實ヲ記入スベシ但シ警部補ニ係ル事實ハ「※」印ヲ付シ人員金額ヲ別記スベシ
 三 本表ハ年中ノ事實ヲ記入スベシ

報告期翌年二月二十日限

報告期 七月十五日限
翌年一月十五日限

第二二 市街地建築物法處分事件

(第何回自一月至六月)

廳名

建築物用途	事由				分件數
	原	本	項	處	

- 一 「建築物用途」欄ニハ住宅、工場、商店、商店兼用住宅、劇場、待合等ノ例ニ依リ記載スベシ
- 二 「原由」欄ニハ第十七條及第十九條ニ該當スル場合ニハ新築、改築、増築等ノ例ニ依リ第十八條ニ該當スル場合ニハ適用區域ノ設定又ハ變更、地域地區ノ指定又ハ變更等ノ例ニ依リ記載スベシ
- 三 「事項」欄ニハ保安上危險、衛生上有害、無届、無認可、空地不足、採光不備、住居地域、除却命令違反等ノ例ニ依リ記載スベシ
- 四 「條項」欄ニハ法令ノ適用條項ヲ掲グベシ
- 五 「處分」欄ニハ除却、改築、修繕、使用禁止、使用停止、罰金何圓、科料何圓等ノ例ニ依リ記載スベシ

報告期翌年三月末日限

廳名

何別	用途別	工事別				其他
		新築	増築	改築	其他	
住居建築物	件數	延面積(ヘクタール)	件數	延面積(ヘクタール)	件數	延面積(ヘクタール)
	件數	延面積(ヘクタール)	件數	延面積(ヘクタール)	件數	延面積(ヘクタール)

計	何警署管内				計	何警署管内				計											
	住居建築物	商業建築物	工業建築物	其他		住居建築物	商業建築物	工業建築物	其他												

- 一 「住居建築物」欄ニハ住宅ノ外寄宿舎、合宿所、下宿屋等定住の意味ヲ有スル住居ノ用ニ供スルモノ及住宅ノ一部ヲ商店等他ノ目的ニ使用スルモノヲ掲記スルモノトス
- 二 「商業建築物」欄ニハ銀行、會社、事務所、商店、旅館、待合、料理店、貸座敷、劇場、市場ノ類ヲ掲記スルモノトス
- 三 「工業建築物」欄ニハ工場、倉庫、車庫、(變配)電所ノ類ヲ掲記スルモノトス

第一編 警務 第七章 召集及報告

- 四 「其他」欄ハ官公衙、停車場、學校、圖書館、病院、公會堂、社寺、教會ノ類及前各號ニ合マザルモノヲ掲記スルモノトス
- 五 「工事別」欄ニ於テ新築ト稱スルハ建築ニ依リ新ナル敷地ノ生ズル場合ヲ指スモノトス
- 六 件數ハ一敷地毎ニ一件トシテ計算スルモノトス

報告期翌年三月末日限

第二四 市街地建築物法關係申請届受理件數 (何年)	
建築申請建築	建築指定申請
其	其他
計	計
應名	

第三九 警察職員、官署及設備

報告期翌年一月末日限

第三九ノ一 警察官吏定員 (何年十二月末日現在)	
警察部長	警察部
警察部 警部補	警察部 警部補
警察部 巡査部長	警察部 巡査部長
警察部 巡査員	警察部 巡査員
計	計
合計	合計
應名	

- 一 警視廳各部長(消防部長ヲ除ク)及同廳官房主事ハ警察部長ノ欄ニ入ル以下各表之ニ依リ
- 二 特設消防署規程ニ依リ警視ハ「X」印ヲ附シ本數ノ外トシテ掲グベシ
- 三 警部補及巡査定員ハ内務大臣認可定員ニ符合スルモノトス
- 四 廳府縣巡査定員令(大正十五年勅令第四百一十一號)第四條ノ地域ニ配置ノ警部補、巡査ハ「※」印ヲ附シ本數ノ外トシテ掲グベシ

〔山梨警〕

- 五 休職者ハ「△」印ヲ附シ各當該欄ニ記入シ兼任者ハ本表ニ掲載ヲ要セズ
- 六 警視廳及特設消防署規程施行府縣ニ於テハ消防職員ニ關シ本表ニ準シ調査報告スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ二 警察官吏現在員 (何年十二月末日現在)	
警察部長	警察部
警察部 警部補	警察部 警部補
警察部 巡査部長	警察部 巡査部長
警察部 巡査員	警察部 巡査員
計	計
合計	合計
應名	

- 一 前表記載例一、二ニ依ルベシ
- 二 兼任者ハ「△」印ヲ附シ本數ノ外トシ各當該欄ニ記入スベシ休職者ハ本表ニ掲上ヲ要セズ
- 三 請願ニ依リ配置スル巡査ハ本數中ニ算入シ各當該欄ニ「※」印ヲ附シ再掲スベシ
- 四 前項備考四ニ該當ノ警部補、巡査現在員ハ本表中本數中ニ算入シ別記ヲ要セズ
- 五 本表ニハ初任教習中ノ巡査ハ掲上ヲ要セズ
- 六 警視廳及特設消防署規程施行府縣ニ於テハ消防職員ニ關シ本表ニ準シ調査報告スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ三 警察官吏勤続年數 (何年十二月末日現在)	
年數別	警察部長
一年未滿	警察部
一年以上未滿	警察部
三年以上未滿	警察部
五年以上未滿	警察部
計	計
應名	

第一編 警務 第七章 召集及報告

平均勤続年數																			
合計																			
二十五歳以上																			
二十歳以上																			
十五歳以上																			
十年以上																			
五年以上																			
三年以上																			
二年以上																			
一年以上																			
平均勤続年數																			

一 前表記載例ニ依ル但シ兼任者及休職者ヲ掲ゲザルコト請願巡査ハ再掲ヲ要セズ
 二 本表各官職ノ合計ハ前表ノ數ニ符合スベキモノトス
 三 本表ノ勤続年數ハ其ノ廳府縣、其ノ官職ニ於ケル勤続年數ヲ指ス但シ巡査部長ニ付テハ巡査就職時ヨリ計算スベシ
 四 平均勤続年數ハ各人毎ノ勤続年數ノ總和ヲ基礎トシテ算出シ小數一位迄記入スベシ
 五 四十年以上五年毎ニ各一欄ヲ設クベシ
 六 警視廳及特設消防署規程施行府縣ニ於テハ消防職員ニ關シ本表ニ準ジ調査報告スベシ
 報告期翌年一月末日限

第三九ノ四	警察官吏年齡	(何年十二月末日現在)	廳名
年	別		
	警察部長		
	警 署		
	視 察		
	部 長		
	部 補		
	巡 査		
	巡 査 部 長		
	巡 査		
	計		

第三九ノ五	警部俸給	(何年十二月末日現在)	廳名
俸	別		
給	人		
	員		
	俸		
	給		
	別		
	人		
	員		

一 前表記載例一、二ニ依ルベシ
 二 平均年齡ハ各人毎ノ年齡總和ヲ基礎トシテ算出スベシ
 三 六十五歳以上五歳毎ニ各一欄ヲ設クベシ
 四 警視廳及特設消防署規程施行府縣ニ於テハ消防職員ニ關シ本表ニ準ジ調査報告スベシ
 報告期翌年一月末日限

五	六	七	八	九	十	十一
級	級	級	級	級	級	級
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
以	以	未	未	未	未	未
滿	上	滿	上	滿	上	滿
上	下	上	上	上	上	上
計	特	一	二	三	四	
別	別	級	級	級	級	
俸	俸	俸	俸	俸	俸	

一 本表ノ計ハ第二表ノ警部數ニ符合スルコト兼任者ハ記入ヲ要セズ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ六 警部補、巡查俸給 (何年十二月末日現在)

俸	三	三	三	四	四	四	五	五	五	六	六
給	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
別	以	以	以	未	未	未	未	未	未	未	未
別	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	滿
警											
部											
補											
巡											
查											
部											
長											
巡											
査											
計											

廳名

七	七	七	八	八	八	九	九	合	平
十	十	十	十	十	十	十	十	計	均
五	五	五	五	五	五	五	五	額	支
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	給	給
以	以	未	未	未	未	未	未	額	額
滿	上	滿	上	滿	上	滿	上	計	計

- 一 本表俸給中ニハ功勞及精勤加俸ヲ含マシムルベシ
- 二 第三九ノ三表記載例一、二ニ依ルベシ
- 三 功勞加俸受給者ニハ「×」印、精勤加俸受給者ニハ「△」印ヲ附シ合計欄中ノミニ再掲スベシ
- 四 平均支給額ハ圓以下一位迄記入スベシ
- 五 俸給九十五圓以上ヲ受クルモノアルトキハ各五圓毎ニ一欄ヲ設クベシ

報告期翌年一月末日限

警	官	第	警	課	警	課	警	警
視	名	三	部	長	部	長	部	部
配	配	九	名	置	名	置	名	名
置	置	ノ	配	現	配	現	配	配
現	現	(七)	置	在	置	在	置	置
在	在	警	現	員	現	員	現	現
員	員	察	在	員	在	員	在	在
		官	員		員		員	員
		吏						
		配						
		置						
		上						
		(何						
		年						
		十						
		二						
		月						
		末						
		日						
		現						
		在						
		廳						
		名						

計	署長	教習所長	計	署長	課長	教習所長	計	署長	署長	課長	計	派出所	署長	署長	課長
---	----	------	---	----	----	------	---	----	----	----	---	-----	----	----	----

- 一 本表ハ現在員ヲ掲上シ其計ハ第三九ノ二表ノ記載數ト符合スベシ
- 二 警察講習所入所中ノ者ハ本數中ニ含メ各當該欄ニハ「※」印ヲ附シ再掲スベシ
- 三 兼務者ニハ「X」印ヲ附シ各當該欄ニ記載スベシ但シ休職者ハ掲上ヲ要セズ
- 四 監察官タル警視ハ「○」印ヲ附シ課長欄ニ記入スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ(八) 巡查配置 (何年十二月末日現在)												廳名
總計	巡查	巡查部長	官名			教習所	内勤			特務刑事計	合計	廳名
			警務部	内勤	外勤		警務部	警務部				
			内勤	外勤	合計		本署	派出所	駐在所			
			特務	刑事	計							

- 一 本表ハ現在員ヲ掲上シ其ノ總計ハ第三九ノ二表ニ符合スルコト但シ請願及教習巡查ヲ除クベシ
- 二 立番所、出張所勤務ノ者ハ派出所勤務ノ欄ニ記入スベシ
- 三 外勤トハ巡查配置及勤務概則第二條ニ該當スルモノニシテ一定ノ受持區劃ヲ有スルモノヲ指ス
- 四 刑事トハ刑事事務ヲ命ジ配置スベキモノヲ指ス
- 五 内勤トハ警察部、警察署等ニ在リテ庶務ニ従事スルモノヲ指ス
- 六 特務トハ前記各種ノ外交通、騎馬等ノ特務ニ従事スルモノヲ指ス
- 七 刑事高等等一人ヲシテ兼キシムルモノニ付テハ見込ニ依リ其一ニ記入スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ(九) 警察官吏異動 (何年中)												廳名				
職官退	自己便宜	傷疾疾病	入					任官職	區別	警察部長	警視	警部	警部補	巡查部長	巡查	計
			合計	復職	昇進	轉入	轉入									

- (一) 武道教師
 - (二) 船長機關士(地方警察技師、技手タル者ヲ除ク)
 - (三) 衛生主事
 - (四) 衛生主事補
 - (五) 防疫監吏
 - (六) 防疫醫
 - (七) 自動車運轉手(地方警察技手、履及書記タルモノヲ除ク)
 - (八) 電話交換手(地方警察技手、履及書記タルモノヲ除ク)
- 六 通譯ハ屬ノ欄ニ「△」印ヲ附シテ掲上スベシ

報告期翌年一月末日限

種別		警務部		警部補		巡査部長	巡査	計	消防組員	其ノ他警察事務ニ従事スル者	合計	職名	
		功勞記章		功勞記章									功勞記章
功勞記章		普通賞		特別賞		功勞記章		功勞記章		功勞記章		功勞記章	

犯罪捜査又ハ犯人逮捕		人名救助又ハ保護		水火災其ノ他災害事變ノ警戒防禦		傳染病豫防救治		前各項ノ外行政事務上重大ナル事件ニ關スル執行又ハ職務ノ執		勤續滿二十年以上ニシテ功勞顯著ナル者	
普通賞		特別賞		功勞記章		功勞記章		功勞記章		功勞記章	
功勞記章		普通賞		特別賞		功勞記章		功勞記章		功勞記章	

一 警視廳及特設消防署規程施行府縣ニ於テハ消防職員ニ關シ本表ニ準シ調査報告スベシ
 二 本表記載ノ外防疫官、防疫官補、防疫員、防疫官吏、支應官吏、市町村吏員及委員、市町村醫、衛生組合職員、看護婦等其ノ他職務上傳染病預防救治ニ從事シ感染シタル者アルトキハ其ノ官職名毎ニ目ヲ設ケ記入スベシ但シ雜役人夫ノ類ハ人民ノ欄ニ記入スベシ
 三 技師ニシテ死傷セシ者アルトキハ警視ノ欄ニ技手及衛生醫ニシテ同上ノ者アルトキハ警部ノ欄ニ夫々「×」印ヲ附シテ記入スベシ

報告期限年一月末日限

第三九ノ(一五) 警察官吏懲戒 (何年中)

官名	職務ヲ怠リタルモノ	職務上ノ義務ニ違背シタルモノ	官職上威嚴又ハ信用ヲ失ヒタルモノ	犯罪行為ヲ爲シタルモノ	職務ヲ放棄シタルモノ	計	職責
警察部長							
警視							
警部							
警部補							
巡查部長							
巡查							
合計							

一 刑事事件ニ關シ起訴セラレタル爲依職ヲ命セラレタルモノハ「△」印ヲ附シ犯罪行為ヲ爲シタルモノ、欄免官職ノ項ニ記入スベシ
 二 懲戒委員會ノ審査ニ附セラレタル爲依職ヲ命セラレタルモノハ「×」印ヲ附シ各當該欄免官職ノ項ニ記入スベシ

三 刑ノ宣告ニ依リ官職ヲ失ヒ又ハ當然退職者トナリタルモノハ「※」印ヲ附シ犯罪行為ヲナシタルモノ、欄免官職ノ項ニ記入スベシ
 四 巡查懲戒令ノ規定ニ依リ懲戒ヲ猶豫セラレタルモノハ「○」印ヲ附シ又懲戒ノ猶豫ヲ取消サレタルモノハ「●」印ヲ附シ各當該欄ニ掲記スベシ

報告期限年一月末日限

第三九ノ(一六) 巡查志願者及採用者年齢 (何年中)

區別	志願探用	二、十五年以満上		三、十五以満上		計
		志願	探用	志願	探用	
實數						
志願者ニ對スル採用百分比						
應名						

報告期限年一月末日限

第三九ノ(一七) 採用巡查教育程度 (何年中)

尋常小學校	中等退學卒業		專門、高等、實業專門、高等師範學校及之ト同程度ノ學校		帝國大學及大學令ニ依ル大學		其ノ他	計
	中途退學	卒業	中途退學	卒業	中途退學	卒業		
應名								

一 大學令ニ依ル大學ノ内專門部等ニシテ卒業ニ依リ學士ト稱スルコトヲ得ザルモノハ之ヲ同欄ニ掲グズ專門學校ノ欄ニ掲グベシ
 二 高等小學校中途退學及卒業ハ尋常小學校卒業ノ欄ニ掲グベシ

第一編 警務 第七章 召集及報告

第三九ノ(一八) 採用巡查職業 (何年中)

公務(軍人ナ除ク)	軍人	銀行會社	交通通信業	農	業	工	業	商	業	水	産	業	其ノ他	無職業	計

報告期翌年一月末日限

- 一 本表ニハ巡查志願當時ニ於ケル職業ヲ記入スベシ但シ相當年月繼續從事セル職業ニ付テハ其ノ業ヲ去リタル後六ヶ月以内ニ巡查志願ヲ爲シタル場合之ヲ巡查志願當時ノ職業ト看做シ記入スベシ
- 二 軍人ハ下士(憲兵ニ在リテハ上等兵)以上トシテ在除シタルモノヲ記入スベシ
- 三 農工商其ノ他各業ヲ通シ會社組織ニ依ルモノハ之ヲ銀行會社ノ項ニ記入スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ(一九) 警察官吏教育 (何年中)

區別	初任巡查教育	現任巡查教育	特科						幹部						
			特高	高等	保安	消防	刑事	衛生	其ノ他	計	警部	警部補	巡查部長		
教育期間															
教育總人員															
教育回數															

- 一 本表ニハ巡查教育所ニ於テ爲シタル教育ニ付キ調査記入スベシ
- 二 特科教育ニシテ二欄以上ヲ兼ヌルモノハ其ノ主ナル一欄ニ記入スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ(二〇) 警察ニ關スル重要設備 (何年十二月末日現在)

自動車	自轉車	サイドカー	自轉車	馬	匹	船	寫真機	拳銃	防彈具	ラゲオ受信機	指紋採取器	電線	延長	電話機

- 一 本表ハ警察部、教育所、警察官署、派出所及駐在所ノ設備ニ付記入スベシ
- 二 本表各欄以外ニ重要設備アラバ追記スベシ
- 三 本表ノ船ニハ發動機ヲ備フルモノヲ掲グベシ
- 四 自動車中自動車運轉手受験専用ノ爲設備スルモノハ「X」印ヲ附シ再掲スベシ

報告期翌年一月末日限

第三九ノ(二一) 警察官署其ノ他 (何年十二月末日現在)

警察署	水上警察署	警部	減	補	出	所	在	巡查駐在所	巡查立番所

- 一 請願ニ關スルモノハ「X」印ヲ附シ本表ノ外トシテ各當該欄ニ掲グベシ
- 二 警視廳及特設消防署規程施行府縣ニ於テハ消防官署其ノ他ニ關シ本表ニ準シ調査報告スベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ(一) 消防組 (何年十二月末日現在)

組	數	組	頭	小	頭	消	防	手	員	計	豫	算

廳名

本表豫算ニハ消防組ニ關スル市町村豫算ヲ編記スベシ但シ豫算ハ其ノ年度豫算ヲ記入スベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ二) 消防組重要機械器具 (何年十二月末日現在)

自 動 車	脚 筒	脚 筒	其 他 脚 筒	蒸 氣 脚 筒	脚 筒	脚 筒	水 動 車	水 動 車	水 動 車	水 動 車	其 他 水 管	其 他 水 管	腕 用 脚 筒	機 械 梯 子	消 防 用 貯 水 池

一 本表掲記以外ニ重要機械器具アラバ末尾ニ追記スベシ
二 本表ニハ特設及私設消防ニ關スルモノヲ除クベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ三) 特設消防機械器具表 (何年十二月末日現在)

自 動 車	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒	脚 筒

一 本表ニハ特設消防ノ重要機械器具ニ付テ記入スベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ四) 違警罪即決處分及正式裁判數 (何年中)

拘 留 種 別	拘 留 科 別	拘留科ニ該ル犯罪件數		正式裁判請求件數		同上ノ結果											
		即決 件數	免 除 件數	本人ヨリ 本人以外 ノ者ヨリ	前年未決 計	有 罪	無 罪										

一 免除ノ欄ニハ拘留科料ニ該ル犯罪トシテ即決官署(警察署長又ハ其ノ代理者)ニ報告アリタルモ即決官署ニ於テ之ヲ免除シタルモノヲ記入スベシ若シ人連ヒ其ノ他罪トナラザルモノアルトキハ同欄中ニ包含計上シ其ノ數ヲ「X」印ヲ附シ再記スベシ
二 説諭ノ欄ニハ即決官署以外ノ警察官吏ニ於テ拘留科料ニ該ルベキ犯罪ヲ認メタルモ之ヲ即決官署ニ報告セズ其ノ官吏ニ於テ説諭ニ止メタルモノヲ總テ掲グベシ
三 拘留ノ言渡ヲ爲シ正式裁判ノ結果科料トナリタルモノハ拘留ノ項有罪ノ欄ニ記入スベシ科料ノ言渡ヲ爲シ拘留トナリタルトキモ亦同様ニ取扱フベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ五) 行政執行法第一條ニ依ル處分 (何年中)

區 別	檢 査		東 計		假 令	置
	男	女	男	女		
公安ヲ害スル虞アリト認メ						
救護ヲ要スト認メ						

工場	法適用工場
鑄造業	鑄造業
火藥類甲種販賣業	火藥類甲種販賣業
火藥類乙種販賣業	火藥類乙種販賣業

火藥類製造業	壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯製造業
壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯貯藏業	壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯貯藏業
壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯販賣業	壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯販賣業

二以上ノ營業ヲ兼ヌルモノハ各別ニ記入スベシ
 一 附婦欄ニハ附婦ナル名稱ヲ用キテ許可ヲ爲シタルモノ、數ヲ掲グベシ其ノ制ヲ探ラザル廳府縣ニ於テハ料理屋、飲食店ノ雇婦女ニシテ客席ニ侍シ酒間ノ幹旋ヲナスヲ業トスル者ヲ調査記入スベシ但シカフエー・パーニ於ケル雇婦女ニシテ同上ノモノハ「カフエー・パー」女給ノ欄ニ記入スベシ
 三 麻雀俱樂部數ハ遊藝場數トノ重複ヲ避ケベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ(一) 自動車運轉者 (何年十二月末日現在)						
種別	年中志願者	年中免許	年中免許取消	運轉地變更届	年末現在	廳名
普通免許						
特殊免許						
小型免許						
計						

一 年末現在數欄ハ普通免許ト特殊免許ヲ併有スルモノハ普通免許ノ欄ノミニ又一人ニシテ數種ノ特殊免許ヲ有スルモノハ一人トシテ記入スベシ
 二 志願、免許及免許取消數中一人ニシテ數欄ニ該當スル場合ハ各別ニ重複記入スベシ
 三 昭和八年十月三十一日以前ニ於テ從前ノ規定ニ依リ爲シタル甲種及乙種運轉手免許數ハ之ヲ改正取締令ノ普通免許ト看做シ其ノ數中ニ合算記入スベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ(二) 自動車就業免許者 (何年十二月末日現在)						
種別	年中志願者	年中就業地變更	年中就業免許取消	年末現在	廳名	
普通自動車ニ依ルモノ						
特殊自動車ニ依ルモノ						
小型自動車ニ依ルモノ						
計						

一 自動車取締令第九十二條第二項ノ規定ニ依リ申請シタル者ハ年中志願者トシテ計上スベシ

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ(一) 普通自動車 (何年十二月末日現在)						
種別	自家用	營業用	計	種別	自家用	營業用
乗用				貨物		
計				計		

一 本表ニハ自動車取締令第二條第二項所定ノ普通自動車即チ内燃原動機、差動裝置及前二輪ニ依ル操向裝置ヲ具備シ車輛重量三百六十斤以上ニシテ主トシテ人又ハ貨物ヲ運搬スル構造ヲ有スル自動車ノ内小型自動車ニ非ザルモノヲ調査記入スベシ
 二 本表ニハ官廳用(帝室用及軍用ヲ除ク)ノモノモ計上スベシ
 三 消防自動車ハ乗用車トスベシ
 四 消防自動車ハ貨物用車トスベシ

五 商品タル自動車ヲ除クベシ

第四〇(二) 特殊自動車 (何年十二月末日現在)

第一種	第二種	第三種	第四種	第五種	第六種	第七種	計
牽引自動車ノ類	ロードローラー	蒸氣自動車	電氣自動車	ハノマク型自動車ノ類	自動自轉車ノ類	其ノ他特殊自動車	

一 本表ニハ自動車取締令第二條第三項所定ノ特殊自動車即チ普通自動車又ハ小型自動車ニ非ザル自動車及牽引自動車ヲ調査記入スベシ
 (昭和八年十月二十四日內務省告示第三百五十號參照)
 二 第四〇(一)表備考二乃至五ニ依ルベシ

第四〇(二)ノ二 小型自動車 (何年十二月末日現在)

四輪乗用車	自動自轉車	側車附自動自轉車	自動三輪車	其ノ他	計

本表ニハ自動車取締令第二條第四項所定ノ小型自動車ヲ調査記入スベシ
 二 第四〇(一)表備考二乃至五ニ依ルベシ

第四〇(一)ノ三 諸車 (何年十二月末日現在)

自轉車	人力車	荷車	馬車	荷牛車	乗用馬車	乗合馬車

第四〇(一)ノ四 交通事故 (何年中)

加害者	被害者	歩行者		自動車又ハ自動自轉車		自轉車		其他		計
		件數	死傷	件數	死傷	件數	死傷	件數	死傷	
自動車	自動車									
自動自轉車	自動車									
自轉車	自動車									
電 車	自動車									
汽 車	自動車									
人 力 車	自動車									
牛 馬 車	自動車									
荷 車	自動車									
其ノ他	自動車									
合 計										

一 本表ニハ衝突、脱線、顛覆、墜落、牛馬ノ逸走等ノ事故ニ付記入スベシ(單ナル交通取締法違反件數ノ如キハ割ケザルコト)
 二 自殺ニ關スルモノヲ除クベシ

第四〇(一)ノ五 遺失物及拾得物 (何年中)

區 別	遺失	拾得	遺失者ニ還付	拾得者ニ下付	國庫歸屬	其他
件數						
貨物						
物品						

一 其ノ他欄中ニ繰越數ノ記入ヲ要セズ

報告期翌年二月末日限

報告期翌年二月末日限

報告期翌年二月末日限

報告期翌年二月末日限

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ(一六) 密査淫檢舉人員及健康診斷結果 (何年中)		密査淫檢舉人員		健康診斷結果	
初犯	再犯以上	計	同上中健	有	無
			人員	毒淋病軟性下疳其ノ他	毒
			人員	計	無毒
					健康診斷人員ニ對スル人員千比

報告期翌年二月末日限

第四〇ノ(一七) 未成年者喫煙禁止法及飲酒禁止法違反 (何年中)		區		別	
未成年者喫煙禁止法違反	未成年者飲酒禁止法違反	計	說諭ニ止メタルモノ	器具沒收科	料罰金計

第四一 警察豫算及給與

報告期四月一日限

第四一ノ(一) 警察豫算 (何年度)		警察費豫算		給與及諸給	
警察費	給與及諸給	計	修繕費(經常部)	計	一世帯當額
			建築費(臨時部)		人口一人當額
			合計		

- 一 本表ハ其ノ年度四月一日現在豫算ヲ記入スベシ
- 二 世帯數人口ハ最近ノ國勢調査ニ依ルベシ
- 三 本表各欄以外ニ款項ノ設ケアル處府縣ニ於テハ各其ノ性質ニ依リ之ヲ本表各欄中適當ノ欄ニ合算掲記スベシ(共済組合給與金ヲ別款ト爲ス處府縣ハ之ヲ俸給及諸給ノ款ニ含マシムルコト)
- 四 連帶ノ市ノ郡ノ三部制採用ノ府縣ニ於テハ之ヲ合算掲記スベシ
- 五 特設消防ニ關スル豫算ハ本表中ニ合算シ各當該欄ニ其ノ額ヲ朱書再記スベシ
- 六 本表ノ一世帯一人當リ算出ニ用キタル數ヲ次ニ掲グベシ

報告期四月一日限

第四一ノ(二) 特設消防經費 (何年度)		特設消防經費		俸給及諸給	
消防費	俸給及諸給	計	機械器具ニ關スル經費	計	其他
			其他		
			合計		

報告期四月一日限

第四一ノ(三) 警部補巡查費 (何年度)		警部補巡查費		加月俸及諸手當旅費	
宿料	賞與	計	給與組合	計	給與組合
恩給	給與		分擔金		分擔金
補助	給與		補助		補助
被服及	帶具費		帶具費		帶具費
賄費	賄費		賄費		賄費
計	計		計		計
警部補	巡查一人當均		請願巡查一人當均		請願巡查一人當均

第一編 警務 第七章 召集及報告

一 本表ニハ警部補、巡查部長及巡查ニ關シ豫算ニ計上シタル總額ヲ記入スベシ
 二 初任教習及巡查募集ニ關スル經費ハ之ヲ除クベシ
 三 宿料費及共濟組合給與金ハ之ヲ合算シ記入スベシ
 四 第四一ノ一警務費豫算表記載例四、五ニ依ルベシ
 五 四位未滿ハ四拾五入スベシ
 六 請願巡查ニ關スルモノヲ含ムベシ
 七 警部補巡查一人當平均ノ算出ノ基礎人員

報告期四月一日限

第四一ノ四) 警部補巡查月俸其ノ他平均 (何年度)

官 名	月 俸	精 加		功 功	勞 勞	宿 宿	料 料	旅 旅	費 費
		錢	錢						
警 部 補									
巡 査 部 長									
巡 査									

- 一 本表ニハ警部補巡查費ニ關スル豫算々出基礎額ニ依リ其ノ一人當リ月額ヲ記入スベシ
 二 豫算々出ノ基礎額同一給與ニシテ二以上ナルトキハ其ノ種給與總額ノ平均ヲ記入スベシ
 三 連帶、市、郡ノ三部制ノ府縣ニ於テハ其總額平均ヲ記入スベシ
 四 錢位未滿ハ四拾五入スベシ

報告期四月一日限

第四一ノ五) 巡查特別手當支給人員及平均月額 (何年度)

種 別	人 員	金 額	種 別										人 員	金 額	
			電 話	消 防	操 練	林 野	馬 術	速 記	火 藥	内 勤	其 他	計			
刑 事															
通 票															
高 等															
會 計															
統 計															
武 術															
自 動 車 運 轉															
交 通															
衛 生															
指 教															
寫 眞															
計															

- 一 前表記載例ニ依ルベシ
 二 本表掲記以外ノモノハ適宜増加スベシ

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(一) 火藥類爆發ノ災害事故 (何年)		火藥類ノ種別	災害年月日	場所	原因	死者數	負傷者數	家屋其ノ他ノ燒毀又ハ爆破數	損害價格	廳名
計										

一原因欄ニハ其ノ場合、狀況等可成詳細ニ記入スベシ

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(二) 火藥類盜難件數 (何年)		盜難	被害物	件數	種類	數量	廳名						
件數	有煙火藥	被盜	ダイナマイト	棉火藥	硝安爆藥	工業用雷管	銃用雷管	實包	空包	包	導火線	其ノ他	米
	無煙火藥												

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(三) 火藥類盜犯檢舉件數 (何年)		件數	盜取物	件數	數量	廳名							
件數	有煙火藥	盜取	ダイナマイト	棉火藥	硝安爆藥	工業用雷管	銃用雷管	實包	空包	包	導火線	其ノ他	米
	無煙火藥												

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(四) 火藥類盜犯人ノ職業別及盜取目的別 (何年)		職業別	盜取目的	件數	廳名						
計	農	獵	漁	鑛	土工	職	業	別	盜取目的	件數	廳名
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
	業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
業	獲	業	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫	

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(五) 銃砲火藥類取締法令違反 (何年)		違反條	件數	廳名
計				

報告期翌年三月末日限

第四二ノ六 火藥類爆発危険以外ノ事故 (何年)

火藥類ノ種別	事故年月日	場所	所事故ノ概要

報告期翌年三月末日限

第四二ノ七 銃砲製造高 (何年)

種別	越	高製	造	高改	造修	繕高	渡	高	年	末	現	在	高
計													
短銃													
空氣銃													
仕込銃													
拳銃													
獵銃													
軍用銃砲													
其他													

一 空氣銃ハ銃砲火藥類取締法令ノ適用ヲ受クルモノノミテ記入スベシ

廳名

第四二ノ八 銃砲販賣高 (何年)

種別	越	高	讓	受	高	讓	渡	高	年	末	現	在	高
計													
軍用銃砲													
獵銃													
拳銃													
短銃													
仕込銃													
空氣銃													
其他													

報告期翌年三月末日限

廳名

一 空氣銃ハ銃砲火藥類取締法令ノ適用ヲ受クルモノノミテ記入スベシ

第四二ノ九 火藥類製造高 (何年)

種別	越	高	製	造	高	變	形修	理高	渡	高	年	末	現	在	高
火藥															
爆藥															

報告期翌年三月末日限

廳名

導火線	米								
煙火	筒								
其ノ他火工品	筒								

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(一〇) 火藥類販賣高 (何年)

種別	越	高	讓	受	高	讓	渡	高	年	末	現	在	高
火藥		庇											
爆藥		米											
導火線		筒											
其ノ他火工品		筒											

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(一一) 火藥類消費數量 (何年)

使用區分	火	藥	爆	藥	雷	管	導	火	線
炭坑		庇				筒			米
其ノ他ノ鑛山用									
(探石ヲ含ム)									

廳名

水力電氣工用									
鐵道工用									
道路工用									
其ノ他ノ工用									

一 其ノ他ノ工用ニ屬スルモノニシテ稍々使用量多キモノニ就テハ其ノ工用名ヲ具體的ニ掲グベシ

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(一二) 仕込刀劍其ノ他變裝戎器製造高 (何年)

種別	越	高	製	造	高	修	繕	高	讓	渡	高	年	末	現	在	高
仕込刀劍																
其ノ他變裝シタル戎器																

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(一三) 仕込刀劍其ノ他變裝戎器販賣高 (何年)

種別	越	高	讓	受	高	讓	渡	高	年	末	現	在	高
仕込刀劍													
其ノ他變裝シタル戎器													

廳名

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(四) 火工品其ノ他作業所數 (何年十二月三十一日現在)

種別	煙火原料用火藥爆藥製造一日二貫未滿ノ作業所及火工品ノ製造若ハ變形修理ノ爲火藥爆藥ヲ使用消費スル數量一日十二貫未滿ノ作業所數	同上以外ノ作業所數	摘	要
煙燃導火線製作所				
電氣雷管製作所				
銃用實空包製造所				
煙火製造所				
玩具用火工品及煙火製造所				
玩具用火工品製造所				

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(五) 拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍其ノ他携帯者 (何年十二月三十一日現在)

種別	官公吏商	業農	業鐵	夫土工夫	職名
拳銃					
短銃					
仕込銃					

報告期翌年三月末日限

第四二ノ(六) 火藥類輸出入數量 (何年)

本表ハ銃砲火藥類取締法施行規則第三十九條ニ依リ許可シタルモノノ數ヲ記入スベシ

其ノ他變裝シタル武器

種別	輸出數量	輸入數量	摘	要
無煙火藥	疋	疋		
有煙火藥	疋	疋		
名稱成分配合比	疋	疋	名稱、成分、配合ノ異ナル毎ニ數量ヲ調査記上スルコト但シ輸出品ニ付テハ成分配合比ヲ省略スルモ差支ナシ	
藥	疋	疋		
工業用雷管	箇	箇	使用爆藥及號數ノ異ナル毎ニ區分ノコト	
銃用雷管	箇	箇		
銃用實包	箇	箇		
銃用空包	箇	箇		

報告期翌年三月末日限

導火線	米		米
煙火	筒		筒
其ノ他火工品	筒		筒

一 本表ハ輸出入港所在地廳府縣ニ於テ調査スルコト尙移出、移入アラバ各相當欄ニ括弧シテ記入スベシ
 第四三 壓縮瓦斯及液化瓦斯取締

報告期翌年三月末日限

第四三ノ(一)	壓縮瓦斯及液化瓦斯製造事業	(何年十二月三十一日現在)	廳名
事業者名	製造所名	製造開始年月日	事業投資額
製造所名	所在地	事業投資額	備考

一 本表ニハ現存スルモノヲ全部記入スベシ
 二 事業投資額ノ欄ニハ會社ニ在リテハ資本總額及拂込金額ヲ記入スベシ

報告期翌年三月末日限

第四三ノ(二)	壓縮瓦斯及液化瓦斯製造量	(何年)	廳名
製造所名	作業主任者名	種類	製造量
(化學) (田浦三郎)	(壓縮瓦斯)	(壓縮瓦斯)	(立方米)
(壓縮機) (池田一郎)	(炭酸)	(炭酸)	(升)
			(立方米)
			(升)
			備考

一 作業主任者欄ニハ化學壓縮機各別ニ記入スベシ
 () 内ハ記載例
 二 製造量欄並ニ各瓦斯一日ノ製造能力欄記載ニ付テハ左記各項ニ依ルベシ
 石灰窒素製造工場ニ在リテハ窒素ノ製造量及製造能力ヲ記入スベシ
 固形炭酸(ドライアイス)製造工場ニ在リテハ液化炭酸ノ製造量及製造能力ヲ記入スベシ
 合成醋酸製造工場ニ在リテハ酸素ノ製造量及製造能力ヲ記入スベシ
 合成アムモニア製造工場ニ在リテハ水素、窒素及液化アムモニアノ製造量及製造能力各別ニ記入スベシ

報告期翌年三月末日限

第四三ノ(三)	壓縮瓦斯及液化瓦斯貯藏所數	(何年十二月三十一日現在)	廳名
(イ)	貯藏業者數		
(ロ)	貯藏所數		
所有者	製造業者	貯藏業者	販賣業者
貯藏所數			其他
			計

報告期翌年三月末日限

第四三ノ(四)	壓縮瓦斯及液化瓦斯販賣業者	(何年十二月三十一日現在)	廳名
---------	---------------	---------------	----

報告期翌年三月末日限

第四三ノ五) 作業主任者免狀下付		(何年)		氏名	
免狀ノ種類	下付年月日	履	歴	氏	名
(化學)	(昭和三年二月二日)	(一)	明治三十五年三月高等小學校卒業 大正十年六月ヨリ昭和三年十月迄壓縮瓦斯製造作業ニ從事	(田	浦三郎)
(壓縮機)	(昭和三年八月十日)	(一)	明治四十年三月某縣立工業學校機械科卒業 明治四十年四月ヨリ昭和三年十一月迄壓縮瓦斯製造作業ニ從事	(池	田一郎)

本表ハ一月一日ヨリ十二月末日迄ニ下付サレタル分ニ付之ヲ作成スベシ

報告期翌年三月末日限

第四三ノ六) 壓縮瓦斯及液化瓦斯製造業者所有容器

(何年十二月三十一日現在)

廠名

所有者名	充填瓦斯		容器ノ瓦斯充填量	所有容器數
	種類	名稱		
(大日本酸素會社)	(壓縮瓦斯)	(酸素)	(五〇〇〇立入)	(一五八本)
(帝國炭酸會社)	(液化瓦斯)	(炭酸)	(二〇〇立入)	(三〇〇本)

報告期翌年三月末日限

第四三ノ七) 壓縮瓦斯及液化瓦斯災害

(何年)

廠名

災害發生ノ場所	發生年月日	被害ノ程度	發生ノ原因

報告期翌年三月末日限

第四三ノ八) 壓縮瓦斯及液化瓦斯法令違反

(何年)

廠名

違反條年	違反者名	違反事項	違反人員		計
			違反人員	訴追セシモノ	

報告期九月末日限

一 違反事項欄ニハ其ノ要領ヲ簡明ニ記入スベシ
二 違反者法人ナルトキハ違反者名欄ニ法人及法人ノ代表者名ヲ記入スベシ

第四四) 自動車		(何年八月末日)	
車種	番號	所有者ノ住所氏名又ハ名稱	運轉路線又ハ區間
車種	設置場	最新ノ使用年月	

種	類
型	式
積	載量
馬	力
構	造
裝	置

- 一 現ニ使用スルモノニ限リ記入スベシ
- 二 所有者ノ調査シ難キ向ニ在リテハ使用者ヲ所有者ト見做シ記入スベシ
- 三 運轉路線又ハ區間ハ一定ノ路線又ハ區間ニ依ル運轉營業ノ爲ニ使用スル自動車ニ限リ其ノ路線又ハ區間ノ名稱ヲ記入スベシ
- 四 最初ノ使用年月不詳ノ向ニ在リテハ最初ノ車輛検査時ヲ記入スベシ
- 五 種類ハ乗用自動車、貨物自動車及特殊用途自動車ニ區別シ特殊用途自動車ハ更ニ牽引自動車、液體運搬自動車、撒水自動車、患者運搬自動車、消防自動車等ニ區別スベシ但シ乗用自動車中貨物自動車匣ヲ使用スルモノニ付テハ其ノ旨附記スベシ
- 六 型式ハ「フオート」ニ七年度型四氣筒、ハドソン「二八年度型超六氣筒」如ク記入スベシ
- 七 積載量ハ乗用自動車ニ在リテハ乘車定員、貨物自動車ニ在リテハ積載量、牽引自動車ニ在リテハ牽引シ得ル積載量、液體運搬自動車及撒水自動車ニ在リテハ貯槽ノ容量、其ノ他ノ特殊用途自動車ニ在リテハ其ノ用途ニ應ズル積載量ヲ記入スベシ
- 八 馬力數ハ氣筒ノ直徑ノ平方時ニ氣筒數ヲ乗ジタルモノヲ二、五ヲ以テ除スル方法ニ依リ算定スベシ
- 九 構造裝置ハ乗用車ニ在リテハ四輪車箱型、貨物自動車ニ在リテハ六輪車箱附自動荷卸裝置附、牽引自動車ニ在リテハ裝軌式、裝輪式、裝輪裝軌併用式、半裝軌式ノ如ク記入スベシ

第四五 自動自轉車 (何年八月末日現在)

車	種	番	號
所有者ノ住所及氏名又ハ名稱			

報告期九月末日限 廳名

型	式
氣	筒
內	容
積	
構	造
裝	置

- 一 氣筒ノ內容積六百立方種以上ニシテ現ニ使用スルモノニ限リ記入スベシ
- 二 型式ハ「インデアアン」ニ七年度型二氣筒ノ如ク記入スベシ
- 三 氣筒ノ內容積ハ立方種ヲ以テ表示スベシ
- 四 構造裝置ハ單車、側車附及後車附ニ區別スベシ

第四六 自動車運轉手 (何年十二月三十一日現在)

第三十五歲以上		三十五歲未滿		合計
男	女	男	女	
兵役關係者		兵役關係者		合計
無關係者		無關係者		
陸軍		陸軍		合計
海軍		海軍		
計		計		合計
計		計		

兵役關係者中ニハ國民兵役ニ在ル者ヲ含マズ
二本表ハ三通提出スベシ

第四七 諸車 (何年十二月三十一日現在)

區	城	荷	馬	車	荷	牛	車	手	挽	荷	車	計
報告期翌年三月末日限 廳名												

何警察署管轄内	
同	
合計	

一 本表ハ二通提出スベシ

報告期翌年三月末日限

第四八 警察職員	(何年十二月三十一日現在)	職別	警	視	警	部	警	部	補	巡	査	計	職名
員數													

一 本表ハ三通提出スベシ

報告期翌年三月末日限

第四九 警察職員兵役關係者	(何年十二月三十一日現在)	官名	飛行兵	鐵道兵	電信兵	戰車兵	自動車	手工	長	其他	計	未教育補充兵	計	海軍關係者	計	職名
既	陸	軍	既	軍	關	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者
警部補																

通査	
合計	

- 一 歸休兵、豫備兵、後備兵及補充兵ニ限リ兵役關係者トシテ記入スベシ
- 二 自動車手ハ各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ヲ記入スベシ
- 三 其ノ他ノ欄ニハ列記外ノ各兵科ニ屬スルモノヲ記入スベシ
- 四 海軍關係者欄ニハ各兵科ニ屬スルモノヲ一括シテ掲グベシ
- 五 本表ハ三通提出スベシ

報告期翌年三月末日限

第五〇 警察官署配置圖	(何年十二月末日)	職名
-------------	-----------	----

- 一 本圖ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第八ニ依リ作成シ三通提出スベシ
- 二 第二回以後ノ報告ハ異動報告ヲ以テ之ニ代ユル事ヲ妨グズ

報告期翌年三月末日限

第五一 警察電話回線圖	(何年十二月末日)	職名
-------------	-----------	----

- 一 本圖ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第九ニ依リ作成シ三通提出スベシ
- 二 第二回以後ノ報告ハ異動報告ヲ以テ之ニ代ユルコトヲ妨グズ

報告期翌年三月末日限

第五二 消防職員	(何年十二月三十一日現在)	職名
----------	---------------	----

警視廳官制ニ依ルモノ及特設消防署規程ニ依ルモノ

消防組規則ニ依ルモノ

官職別	消防部長	警視	消防司令	消防士	消防機士	消防手	計	組頭	小頭	消防手	計
員數											

一 消防組規則ニ依ルモノニ付テハ常備ノモノヲ記入スベシ
 二 本表ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第十ノ地域ニ依リ作成シ三通提出スベシ

報告期翌年三月末日限

第五三 消防職員兵役關係者(警視廳官制) (何年十二月三十一日現在)

官職別	陸軍		海軍		計
	既教育者	未教育者	既教育者	未教育者	
消防部長					
警視					
消防司令					
消防士					
消防機士					
消防手					
合計					

- 一 歸休兵、豫備兵、後備兵及補充兵ニ限リ兵役關係者トシテ記入スベシ
- 二 自動車手ハ各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ヲ記入スベシ
- 三 其ノ他ノ欄ニハ列記外ノ各兵科ニ屬スルモノヲ記入スベシ
- 四 海軍關係者欄ニハ各兵科ニ屬スルモノヲ一括シテ記入スベシ
- 五 本表ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第十ノ地域ニ依リ作成シ三通提出スベシ

報告期翌年三月末日限

第五四 消防職員兵役關係者(特設) (何年十二月三十一日現在)

官職別	陸軍		海軍		計
	既教育者	未教育者	既教育者	未教育者	
消防士					
消防機士					
消防手					
其他					
合計					

- 一 歸休兵、豫備兵、後備兵及補充兵ニ限リ兵役關係者トシテ記入スベシ
- 二 自動車手ハ各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ヲ記入スベシ
- 三 其ノ他ノ欄ニハ列記外ノ各兵科ニ屬スルモノヲ記入スベシ
- 四 海軍關係者欄ニハ各兵科ニ屬スルモノヲ一括シテ記入スベシ
- 五 本表ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第十ノ地域ニ依リ作成シ三通提出スベシ

報告期翌年三月末日限

第五五 消防職員兵役關係者（公設）（何年十二月三十一日現在）

職名別	陸軍		海軍		計
	既教育者	未教育者	既教育者	未教育者	
飛行兵					
鐵道兵					
電信兵					
戰車兵					
自動車手					
工長					
其ノ他					
計					
補充兵					
計					
關係者					
計					
組頭					
小頭					
消防手					
合計					

- 一 警休兵、豫備兵、後備兵及補充兵ニ限リ兵役關係者トシテ記入スベシ
- 二 自動車手ハ各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ヲ記入スベシ
- 三 其ノ他ノ欄ニハ列記外ノ各兵科ニ屬スルモノヲ記入スベシ
- 四 海軍關係者ニハ各兵科ニ屬スルモノヲ一括シテ記入スベシ
- 五 本表ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第十ノ地域ニ依リ作成シ三通提出スベシ

〔山梨管〕

〔山梨管〕

報告期翌年三月末日限

第五六 消防機關配置圖（何年十二月末日）

地名

- 一 本圖ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第十ニ依リ
 - (一) 消防署ノ配置
 - (二) 自動車唧筒ノ配置ヲ記入スベシ
- 二 警視廳官制及特設消防署規程ニ依ル消防署ノ存セザル地ニ在リテハ
 - (一) 消防組員ノ詰所
 - (二) 自動車唧筒ノ配置ヲ記入スベシ
- 三 告示ニ市及其ノ附近トアルハ市及其ノ接続町村ヲ指スモノトス
- 四 第二圖以後ノ報告ハ異動報告ヲ以テ之ニ代ユルコトヲ妨グズ
- 五 本圖ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第十ノ地域ヲ第十一ノ例ニ依リ作成シ三通提出スベシ

地名	消防署	消防組	自動車唧筒	詰所	消防車	消防艇	消防ポンプ	消防器具	消防人員	消防經費
山梨管										
...										

第六三 水道 其ノ一 (何年度末現在)

企業者	何某市	企業者	何某市	認可又ハ許可 年月日	起工 年月日	竣工 年月日	給水 開始 年月日	布設 總工費 圓	給水 區域	計當 畫初 現在	給水 人口 極度給 水人口	一日一人 給水量 平均 最大	水源 水壓ノ概算 (一平方 種ニ付)
企業者	何某市	企業者	何某市	年月日	年月日	年月日	年月日	圓	米	米	米	米	米
配水管 延長	米	配水管 延長	米										
放水 計量 給水 栓	米	放水 計量 給水 栓	米										
計 戶數		計 戶數											
現住 區域 內 總戶 口		現住 區域 內 總戶 口											

何某市	企業者	何某市	企業者

一 本表ハ水道條例ニ依リ布設ノ認可又ハ許可ヲ得タルモノノ年度末現況ヲ記載報告スル様式ヲ示シタルモノトス
 二 企業者ノ欄ニハ府縣、市、町村、組合、私人等ノ別ヲ記入スルモノトス次表モ亦同シ
 三 改築又ハ増築等ニ關スル變更、災害ノ復舊ニ屬スル工事ノ認可、起工、竣工トモ其ノ年月日ヲ「*」印ヲ附シテ之ヲ別掲シ從テ其ノ工費モ布設總工費ノ欄ニ別記スルヲ要ス但シ竣工ノ分ハ決算額ヲ掲ケ未竣工ノ分ハ一部竣工セルモノト雖モ總テ豫算額ヲ掲スベシ
 四 配水管延長中其ノ他ノ欄ニハ混泥土管、木管、土管等ヲ區分掲スベシ
 五 給水區域内現住總戶口ハ最近ノ事實ヲ掲ケ且其ノ年月日ヲ添記スベシ
 六 本表ニ限リ報告ノ際ハ必ズ同一ノモノニ表ヲ提出スベシ

報告期翌年度六月末日限

廳名

第六四	企業者	何某市	企業者	何某市
水道 其ノ二	水道 其ノ二	水道 其ノ二	水道 其ノ二	水道 其ノ二
(何年度)	(何年度)	(何年度)	(何年度)	(何年度)
給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最
給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ
給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最
給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ
給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最	給水量 總量 平均 最
給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ	給水 時間 最大 對 スル モノ

第六五 下水道		其ノ一		其ノ二		其ノ三	
企業者	何某市	何某市	何某市	何某市	何某市	何某市	何某市
認可又ハ起工竣功	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
建築總工費	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
排水區域內	面積	面積	面積	面積	面積	面積	面積
現住戶數	現住人口	現住戶數	現住人口	現住戶數	現住人口	現住戶數	現住人口
標準降雨強度(一時間)	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日
汚水量	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式
排水量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量
吐口位置及處分方法	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域
陶管何管暗渠開渠側溝計	米	米	米	米	米	米	米
延長	米	米	米	米	米	米	米
建築費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費
其他	其他	其他	其他	其他	其他	其他	其他
計	計	計	計	計	計	計	計

第六五 下水道		其ノ一		其ノ二		其ノ三	
企業者	何某市	何某市	何某市	何某市	何某市	何某市	何某市
認可又ハ起工竣功	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
建築總工費	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
排水區域內	面積	面積	面積	面積	面積	面積	面積
現住戶數	現住人口	現住戶數	現住人口	現住戶數	現住人口	現住戶數	現住人口
標準降雨強度(一時間)	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日	一人一日
汚水量	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式	排水方式
排水量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量	排水總量
吐口位置及處分方法	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域	排水區域
陶管何管暗渠開渠側溝計	米	米	米	米	米	米	米
延長	米	米	米	米	米	米	米
建築費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費	維持修繕費
其他	其他	其他	其他	其他	其他	其他	其他
計	計	計	計	計	計	計	計

築造		造何		造何		費工	
何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年
度	度	度	度	度	度	度	度
計	費	費	費	費	費	費	費
小	務	何	排	建	排	計	
備	費	費	水	物	水		
	及	々	用	築	設		
	雜		脚	造	備		
	費		筒	費	度		
			費	費	度		
			々	々	々		
別年度				補庫國			
何年	何年	何年	何年	何年	何年	何年	寄
計	年	年	年	年	年	年	附
	度	度	度	度	度	度	々
							金

第六九 傳染病患者死者 (何年)

市部	種別	患者		死者		計	應名
		者	患	者	死		
市	コレラ						
市	赤痢						
市	腸チフス						
	パラチフス						
	痘						
	瘡						
	發疹チフ						
	猩紅熱						
	ガフテリア						
	流行性腦脊膜炎						
	ペスト						

〔山梨等〕

郡部	計	患者	死者

一 本表ハ其ノ年内發生ノ眞症患者及其ノ年内ニ於ケル死者ヲ記入スベシ但シ死後發見シタルモノハ之ヲ患者トシテモ掲グベシ
 二 赤痢中疫痢ノ患、死者ハ「※」印ヲ附シテ再掲スベシ

第七〇 中毒 (何年)

中毒品種別	患者		死者		計	應名
	患	者	患	者		
河豚						
爾他ノ魚介類						
蕈類						
毒草						
曼陀羅華						
曼陀羅華						
とりかぶと						
やまごぼろ						
生梅						
糖類						
爾他ノ植物類						
	患	者	患	者	計	
	同	上	中	死	亡	
	同	上	中	死	亡	
	患	者	患	者	計	
	同	上	中	死	亡	
	患	者	患	者	計	
	同	上	中	死	亡	

腐敗飲食物	ア ル コ ホ ル	阿片及モルヒネノ類	ス ト リ キ ニ ー ネ	コ カ イ ン	石炭酸	フ オ ル マ リ ン	青酸ノ類	醋酸	硫酸	鹽酸	硝酸	格魯誤酸及其ノ鹽類	苛性アルカリ	亞硫酸及其ノ製劑	水銀及汞劑	銅及其ノ製劑

鉛及其ノ製劑	錫	沃度及其ノ化合物並ニ其ノ製劑	爾他ノ醫藥品及工業藥品	揮發油又ハ石油	有害性著色料	酸化粧素	爾他ノ有毒瓦斯	賣藥類	爾他ノ物質	不詳、不明ノ物質	合計

一 中毒品種別中「爾他ノ魚介類」中ニハ腐敗シタル魚介類ヲ含ム
 二 其ノ年中中毒患者ニシテ翌年ニ至リ死亡シタルモノハ患者トシテノミ其ノ年ノ分ニ計上シ死亡者トシテハ翌年分ニ掲グベシ

第七一 牛乳 (何年)
 其ノ一 牛乳營業者數(年末現在)

報告期翌年二月末日限	廳名

牛乳搾取、處理業者 特別牛乳ノ牛乳	牛乳搾取販賣業者	牛乳處理販賣業者	牛乳販賣業者	乳製品(バター含ム) 製造販賣業者
----------------------	----------	----------	--------	----------------------

一、牛乳業者ニシテ特別牛乳ノ搾取、處理ト他ノ業態ト兼メル者ハ之ヲ他ノ業態ノ欄ニ掲グルノ外特別牛乳ノ欄ニ「※」印ヲ附シテ掲グベシ

二、牛乳販賣業者ノ欄ニハ牛乳ノ販賣ノミヲ爲ス者ヲ掲グベシ

特別牛乳以外ノ牛乳	其ノ二 牛乳搾取場數、乳牛頭數及牛乳搾取量		牛乳搾取場(年末現在)	乳牛頭數(年末現在)	牛乳搾取量
	牛乳搾取	場(年末現在)			

一、乳牛頭數欄ニハ泌乳及乾満期中ノ牛ヲ掲グベシ

其ノ三 牛乳處理場數及牛乳處理量

特別牛乳以外ノ牛乳	牛乳處理場(年末現在)	牛乳處理量				計
		生乳	牛乳	處理量	量	
		低温殺菌乳	高温殺菌乳			
		「リットル」	「リットル」			

一、牛乳處理量ハ牛乳搾取、處理販賣、業者及牛乳處理販賣業者ノ處理シタル量ヲ掲グベシ
二、脱脂乳ノ處理量ハ「※」印ヲ附シテ別記スベシ

其ノ四 乳製品(バター含ム)製造量及輪(移)入量			
煉乳	同上無糖ノモノ	脱脂煉乳	同上無糖ノモノ
「キログラム」	「キログラム」	「キログラム」	「キログラム」
粉	同上無糖ノモノ	脱脂粉乳	同上無糖ノモノ
「キログラム」	「キログラム」	「キログラム」	「キログラム」

一、乳製品ノ輪(移)入量ハ「※」印ヲ附シテ之ヲ別記スベシ

報告期翌年二月末日限

第七二 山羊乳 (何年)	山羊乳搾取販賣業者數	山羊乳搾取場數	乳用山羊頭數	搾乳量
				「リットル」

一、業者數、搾取場數、山羊頭數ハ年末現在ヲ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第七三 清涼飲料水 (何年)	其ノ一 製造(輪移入)業者數			
製造(輪移入)業者數	製造	移入	品別	業者數
	礦泉及ブレーンソーダ水	ラムネノ類	サイダーノ類	果實汁、果實蜜及其ノ類似製品
			「果實水、薄荷水、桂皮水ノ類ヲ含ム」	牛乳又ハ乳製品ヲ原料トスル酸性飲料

一、業者數ハ年末現在ヲ掲グベシ
二、輪移入業者數ニハ「※」印ヲ附シテ之ヲ別記スベシ但シ製造業者ニシテ輪移入業者ヲ兼メル者ニハ「○」印ヲ附シテ之ヲ別記スベシ

三 同一人ニシテ二種以上ノ製造(輸移入)ニ従事スル者ハ「製造(輸移入)品種別營業者數」ノ欄ニ於テハ之ヲ各品種ニ就テ掲グベシ

其ノ二 製造(輸移入)總量

鐵泉及ブレンソーダ水	ラムネノ類	サイダーノ類	果實水、薄荷水、 桂皮水ノ類ヲ含ム	果實汁、果實蜜及其 ノ類似製品	牛乳又ハ乳製品ヲ原 料トスル酸性飲料
「リットル」	「リットル」	「リットル」	「リットル」	「リットル」	「リットル」

一 輸移入量ニハ「※」印ヲ附シテ之ヲ別記スベシ

報告期翌年二月末日限

第七四 氷雪 (何年)

應名

採取製造營業者數	採取若ハ製造量	同上	不合格品量
種別	採取若ハ製造量	同上	不合格品量
人造氷	「キログラム」		
天然氷			
雪			

一 本表ハ明治三十三年七月内務省令第三十七號氷雪營業取締規則ニ依ルモノ、内飲食用ノ目的ヲ以テ氷雪ヲ採取若ハ製造スル者及其ノ採取若ハ製造量ヲ調査記入スベシ

二 採取製造營業者數ハ年末現在ヲ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第七五 屠場及屠畜 (何年)

應名

屠場及屠畜 (何年)		屠場數		屠畜體數		屠畜重量	
市	町	市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ
計	計	計	計	計	計	計	計

一 屠場數ハ年末現在ヲ掲グベシ

二 畜産組合設、産業組合設ノ屠場ハ「※」印ヲ附シテ私設其ノ他ノ欄ニ別記スベシ

其ノ二 屠場内屠殺

市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	私設其ノ他ノ屠場ニ係ルモノ	計
市設屠場ニ係ルモノ	町村設屠場ニ係ルモノ	私設其ノ他ノ屠場ニ係ルモノ	計
計	計	計	計

一 肉量ノ内ニハ内臓ヲ包含セズ	馬		豚		山羊		綿羊	
	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ

一 肉量ノ内ニハ内臓ヲ包含セズ	馬		豚		山羊		綿羊		牛		種別	屠殺ノ禁止頭數	其ノ四 屠殺ノ禁止及屠殺後全部又ハ一部ノ廢棄ヲ命ジタルモノ
	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ	計	市設屠場ニ保ルモノ 町村設屠場ニ保ルモノ 私設其ノ他ノ屠場ニ保ルモノ			

馬	豚
一 内量ノ内ニハ内臓ヲ包含セズ	
其ノ五 屠殺ノ禁止及屠殺後全部又ハ一部ノ廢棄ヲ命ジタルモノノ原因別頭數	

種別	牛				猪				原因別
	禁止	全部廢棄	一部廢棄	内臓ノミ廢棄	禁止	全部廢棄	一部廢棄	内臓ノミ廢棄	
法定家畜傳染病									病原
中毒諸症									因
放線菌腫									別
開放性放線菌腫									
開放性放線菌腫									
旋毛蟲									
囊蟲									
マストダ									
炎症又ハ其ノ汚染									
變性又ハ萎縮									
其他									
計									

種別	牛				猪				山羊				馬			
	禁止	全部廢棄	一部廢棄	内臓ノミ廢棄	禁止	全部廢棄	一部廢棄	内臓ノミ廢棄	禁止	全部廢棄	一部廢棄	内臓ノミ廢棄	禁止	全部廢棄	一部廢棄	内臓ノミ廢棄
法定家畜傳染病																
中毒諸症																
放線菌腫																
開放性放線菌腫																
開放性放線菌腫																
旋毛蟲																
囊蟲																
マストダ																
炎症又ハ其ノ汚染																
變性又ハ萎縮																
其他																
計																

一 禁止又ハ廢棄ノ原因二件以上アルトキハ各原因ニ就テ計上スベシ

種	其ノ六 自家用屠殺					種	種	種	種	種	種	種
	別	頭	數	肉	量							
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種
種						種	種	種	種	種	種	種

報告期翌年二月末日限

第七六 内地産獸毛消毒成績 (何年)

種	別	毛	馬	毛	豚	毛	其	ノ	他	税關名
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種
種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種

報告期翌年二月末日限

第七七 飲食物其ノ他ノ物品検査成績 (何年)

特別牛乳	牛乳	煉乳	同上無糖ノモノ	脱脂煉乳	同上無糖ノモノ	粉乳	同上無糖ノモノ	脱脂粉乳	同上無糖ノモノ	天然水	人造水	検査件数	同上中有	有害件数	取締規則	營業ノ禁止	營業ノ停止

「X」有害ナリト確定シタルトキニ物品ノ現存セザル爲處分シ能ハザルカ又ハ他ノ事故ニ依リテ處分ヲ爲シ得ザリシモノ
 四、二以上ノ取締規則ニ抵觸シ有害ト決定シタルモノニ付テハ「有害件數ノ取締規則別」ノ欄ニ於テハ之ヲ各別ニ計上スベシ

報告期翌年二月末日限

第七八 汚物掃除 (何年)

何市	何市	何市	掃除區劃 内ノ戸數	塵芥其ノ他搬出量			施行規則第二十 一條ニ基キ掃除 義務者ヲシテ處 分セシムル戸數	塵芥焼却設備		淨化裝置ヲ施 シタル便所數	市街地建築物法 施行規則第十二 條ニ依リテ下水 道ニ直結スル便所 數
				塵	芥	汚泥		設備數	焼却量		
				〔キログラム〕	〔キログラム〕	〔キロリットル〕					
何市											
何市											
何市											

- 一 戸數、塵芥焼却設備數、便所數ハ年末現在ヲ掲グベシ
- 二 尿尿搬出量ハ市ニ於テ其ノ處分義務ヲ負フモノニ限り之ヲ記載スベシ
- 三 塵芥焼却設備數中ニハ露天焼却設備ノ數ヲ計上スベカラズ
- 四 塵芥焼却量ハ其ノ年中ニ焼却シタル量ヲ記載スベシ
- 五 淨化裝置ヲ施シタル便所數ハ淨化裝置ノ設備數ヲ以テ計算スベシ
- 六 下水道ニ直結スル便所數ハ便所ト下水トノ連絡管數ヲ以テ計算スベシ

報告期翌年二月末日限

第七九 埋火葬 (何年)

墳墓地箇所數	同上	面積	火葬場數	埋葬死體數	火葬死體數	廳名
		〔ヘクタール〕				

- 一 墳墓地箇所數、面積及火葬場數ハ年末現在ヲ掲グベシ
- 二 埋葬死體數ハ其ノ地方ニ於テ認許證ヲ附與シタルモノヲ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第八〇 結核豫防法ニ依ル健康診断成績 (何年)

要健康診断豫定人員	健康診断ヲ施行シタル人員	患者數	從業禁止ヲ命ジタル人員	廳名

- 一 要健康診断豫定人員ハ地方廳ニ於ケル結核豫防ノ施行細則規定ノモノヲ掲グベシ
- 二 二回以上健康診断ヲ行ヒタルモノアルトキハ其ノ人員ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第八一		トラホーム検診成績 (何年)				廳名
検診施行シタル人員	患者			計	從業停止ヲ命ジタル人員	
	重	症輕	症疑似			

一 本表ハ「トラホーム」豫防法ニ基キ各地方廳ニ於テ施行シタル検診ノ成績ヲ掲グベシ
 二 二回以上検診ヲ施行シタルモノアルトキハ其ノ人員ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第八二		娼妓健康診断 (何年)				廳名
遊廓數	健康診断所數	娼妓病院又ハ治療所數	娼妓一日平均數	健康診断延人員	同上中有病ト認メタル者	
						其ノ一 遊廓數其ノ他

一 遊廓數、健康診断所數、娼妓病院又ハ治療所數ハ年末現在ヲ掲グベシ
 二 遊廓ハ必ズシモ一廓ヲ爲サザルモ娼妓稼業許可地ハ遊廓トシテ計算スベシ
 三 遊廓ハ現ニ娼妓稼業ノ事實アルモノヲ掲グベシ
 四 娼妓一日平均數ハ一ケ年間毎月末現在數ヲ以テ平均スベシ

報告期翌年二月末日限

第八三		精神病患者 (何年十二月三十一日現在)				廳名
性別	計	精神病院法ニ依ル者	精神病患者		監護法ニ依ル者	
			官公私立病院ニ監置シタル者	其ノ他ノ場所ニ監置シタル者		

一 一人ニシテ同時ニ二以上ノ疾病ヲ有スルモノハ之ヲ各項ニ記入シ最上位ノ項ヲ除キ其ノ他ノ項ニ「※」印ヲ附スベシ此ノ場合「※」印ヲ附シタル數ハ合計中ニ算入スベカラズ

報告期翌年二月末日限

第八三		精神病患者 (何年十二月三十一日現在)				廳名
性別	計	精神病院法ニ依ル者	精神病患者		監護法ニ依ル者	
			官公私立病院ニ監置シタル者	其ノ他ノ場所ニ監置シタル者		

報告期翌年二月末日限

第八四 細菌検査所 (何年)

府	縣	立	市	立	町	村	立	私	立	計
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一 本表ノ細菌検査所中ニハ縣、市衛生課等所屬ノ細菌室及一般衛生試驗所ノ細菌室ヲ含ムモ病院等ニ於テ一般ノ爲ニセザルガ如キ設備ハ之ヲ含マズ

二 細菌検査所數ハ年末現在ヲ掲グベシ

其ノ二 細菌検査件數

法定傳染病ニ係ルモノ	其他	計
------------	----	---

報告期翌年二月末日限

第八五 海港検査 (何年)

其ノ一 検査船舶數其ノ他

何々港	何々港	港別	検査セシ船舶			検査セシ人員			消毒セシ船舶人員			鼠族昆蟲ノ驅除施行シタル船舶數		驅除施行シタル鼠族船舶數		停船ヲ命ジタル船舶數
			内國船	總噸數	外國船	總噸數	船員	船客	船舶人員	鼠族昆蟲ノ驅除施行シタル船舶數	驅除施行シタル鼠族船舶數					

稅關名

其ノ二 發見シタル傳染病患者及死者數

港別	患者	死者	保菌者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	其ノ他ノ法定傳染病	
																		コ	レ

其ノ三 検査船舶人員月別

何々港	何々港	港別	人員		船舶數		船舶人員									
			人員	船舶數	人員	船舶數	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月

報告期翌年二月末日限

第八六 種痘成績 (何年)

廳名

其ノ一 定期種痘

定期種痘別	公種痘		私種痘		未種痘人員
	善感人員	不善感人員	善感人員	不善感人員	
第一回	計	計	計	計	

第一期	第二期	第一期		第二期	
		第一回	第二回	第一回	第二回

- 一 定期種痘中ニハ種痘法第一條第二項及同第十條ニ依リ定期種痘ト看做スベキモノヲ含ム
- 二 市町村ニ於テ施行シタル種痘ハ之ヲ公種痘欄ニ、其ノ他ハ總テ之ヲ私種痘欄ニ記入スベシ
- 三 第一回欄ニハ其ノ定期第一回ノ種痘成績ヲ記入シ第二回欄ニハ前年若ハ其ノ年第一回ノ種痘不善感ナリシ爲更ニ種痘ヲ行ヒタルモノヲ記入スベシ但シ猶豫不參等ニ依リ後ニ種痘シタル者ハ第一回ノモノハ第一回ノ欄ニ、第二回ノモノハ第二回ノ欄ニ記入スベシ
- 四 檢診未了人員ノ第一回欄ニハ其ノ定期第一回ノ種痘ヲ行ヒタル儘未ダ檢診了セザルモノヲ記入シ第二回欄ニハ第一回ノ種痘不善感ナリシ爲更ニ種痘ヲ行ヒタルモノ未ダ其ノ檢診了セザルモノヲ記入スベシ
- 五 未種痘人員ハ種痘簿又ハ種痘票ニ登載セラレタル要種痘者中其ノ定期種痘ヲ受ケザルモノ若ハ受ケタルコト不明ナルモノヲ記入（第一回欄）スベシ

其ノ二 臨時種痘人員

報告期翌年二月末日限

性	醫師	總		數		診療ニ從事スル醫師數	
		官公私立	外國學校	從業	限地開業	合計	合計
男	大學卒業	學專門學校	試驗及第	奉職履歷	(子弟ヲ含ム)		
女							
計							

第八七

醫師

(何年十二月三十一日現在)

總

數

診療ニ從事スル醫師數

廳名

性	醫師	總		數		診療ニ從事スル醫師數	
		官公私立	外國學校	從業	限地開業	合計	合計
男	大學卒業	學專門學校	試驗及第	奉職履歷	(子弟ヲ含ム)		
女							
計							

- 一 口中科、整骨科ハ試験及第、從來開業ノ當該欄ニ算入スベシ
- 二 外國人醫師ハ本表ニ算入セズ欄外ニ國籍別ニ附記スベシ
- 三 診療ニ從事スル醫師トハ自己又ハ他人ノ診療所(官立診療所ヲ含ム但シ軍用ノモノヲ除ク)ニ於テ醫業ニ從事スル者ヲ謂フ
- 四 診療ニ從事スル醫師ハ住所ノ如何ニ拘ラズ其ノ管内ニ於テ診療ニ從事スル者ヲ掲グベシ
- 五 二以上ノ診療所ニ於テ醫業ニ從事スル者ニ就テハ何レカ一方ノ診療所ニ就テ之ヲ調査スベシ若シ二以上ノ診療所ニシテ管轄地方廳ヲ異ニスルトキハ住所所在地ノ地方廳ニ於テ之ヲ調査スベシ

報告期翌年二月末日限

第八八

齒科醫師

(何年十二月三十一日現在)

廳名

性	醫師	總		數		診療ニ從事スル齒科醫師數	
		官立私立	外國學校	從業	限地開業	合計	合計
男	官立私立	醫學專門學校	試驗及第	從來開業	(子弟ヲ含ム)		
女							
計							

- 一 外國人齒科醫師ハ本表ニ算入セズ欄外ニ國籍別ニ附記スベシ
- 二 醫師ニシテ齒科專門ヲ標榜スルモノアルトキハ其ノ人員ヲ欄外ニ附記スベシ
- 三 診療ニ從事スル齒科醫師トハ自己又ハ他人ノ齒科診療所(官立齒科診療所ヲ含ム但シ軍用ノモノヲ除ク)ニ於テ齒科醫業ニ從事スル者ヲ謂フ

四 診療ニ從事スル齒科醫師ハ住所ノ如何ニ拘ラズ其ノ管内ニ於テ診療ニ從事スル者ヲ掲グベシ
 五 二以上ノ齒科診療所ニ於テ齒科醫業ニ從事スル者ニ就テハ何レカ一方ノ診療所ニ就テ之ヲ調査スベシ若シ二以上ノ齒科診療所ニシテ管轄
 地方廳ヲ異ニスルトキハ住所所在地所在ノ地方廳ニ於テ之ヲ調査スベシ

報告期翌年二月末日限

第八九 藥劑師 (何年十二月三十一日現在)		藥劑師ノ業務ニ從事スル藥劑師數		藥劑師ノ業務ニ從事スル藥劑師數		病院其ノ他ノ診療所ニ於テ調劑ニ從事スル藥劑師數		賣藥營業ノミニ從事スル藥劑師數	
性 別	性 別	官公私立(指定)藥學專門學校卒業	外國學校卒業(試驗及第ヲ含ム)	合計	市 部	町 部	村 部	合計	賣藥營業ノミニ從事スル藥劑師數
計									

一 官公立醫科大學附屬藥學專門部卒業及官公立醫學專門學校藥學科卒業ノ藥劑師ハ之ヲ「官公私立(指定)藥學專門學校卒業」欄中ニ算入スベシ
 二 藥劑師ノ業務ニ從事スル者トハ藥局ニ於テ調劑ニ從事スルモノ、藥品ノ販賣ニ從事スルモノ、製藥ニ從事スルモノヲ謂フ
 三 藥劑師ノ業務ニ從事スル藥劑師、病院其ノ他ノ診療所(官公立ノモノヲ含ム但シ軍用ノモノヲ除ク)ニ於テ調劑ニ從事スル藥劑師及賣藥營業ノミニ從事スル藥劑師ハ住所ノ如何ニ拘ラズ其ノ管内ニ於テ前記ノ業ニ從事スル者ヲ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第九〇 藥局 (何年十二月三十一日現在)	藥劑師ノ開設スル藥局數	藥劑師ニ非ザル者ノ開設スル藥局數	總名

第九一 藥業者 (何年十二月三十一日現在)	其ノ一 藥品販賣業者數	其ノ二 製藥業者數	總名

報告期翌年二月末日限

藥劑師ニシテ藥局ヲ開設セズシテ藥品販賣ヲ營ムモノ	藥劑師使用ニ依ル者		其ノ他		計
	藥劑師使用ニ依ル者	藥律第三十七條ノ四ニ依ル者	其	他	

第九二 産婆 (何年十二月三十一日現在)

報告期翌年二月末日限

廳名

其ノ一 登録又ハ免許資格別
指定ノ學校若ハ講習所卒業ハ
業(試験ヲ含ム) 試驗及第 從來開業 限地開業 計

市	部	町	部	村	部	計
其ノ二 市、町、村部別						

一 外國人産婆ハ本表ニ算入セズ欄外ニ國籍別ニ附記スベシ

報告期翌年二月末日限

廳名

看 護 婦 準 看 護 婦 計 看 護 人	第九三 看護婦及看護人 (何年十二月三十一日現在)

第九四 鍼術、灸術、按摩術業者 (何年十二月三十一日現在)

報告期翌年二月末日限

廳名

種 別	鍼 術		灸 術		按 摩 術 (マツサリジヲ含ム)		鍼 灸 術 兼 業		鍼 按 術 兼 業		鍼 灸 按 術 兼 業	
	盲 者	晴 眼 者	盲 者	晴 眼 者	盲 者	晴 眼 者	盲 者	晴 眼 者	盲 者	晴 眼 者	盲 者	晴 眼 者
男												
女												
計												

一 柔道整復術業者數ハ按摩術業者中ニ揚上スルノ外其ノ人員ヲ欄外ニ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第九五

公立病院

(何年)

其ノ一 病院數、患者收容定員、患者數

病院數	患者		入院患者延數
	收容定員	患者數	
	前年ヨリ越	本年入院退	院 在院中死亡 年末現在

廳名

- 一 本表ニハ年末ニ現在スル公立病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲グベシ
- 二 本表公立病院中ニハ結核病院、精神病院、癩癧養所、施療病院、娼妓病院及傳染病院ヲ揚上スベカラズ
- 三 傳染病患者收容定員及結核患者收容定員ハ他ト區別シ前者ニハ「X」印ヲ、後者ニハ「O」印ヲ附シテ之ヲ掲グベシ
- 四 本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スベシ
- 五 入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

其ノ二 診療科別病院數

診療科別	市			部			町			部			村			部		
	收容定員 以上十人 ノモノ	收容定員 以上三十人 ノモノ	收容定員 以上五十人 ノモノ	收容定員 以上十人 ノモノ	收容定員 以上三十人 ノモノ	收容定員 以上五十人 ノモノ	收容定員 以上十人 ノモノ	收容定員 以上三十人 ノモノ	收容定員 以上五十人 ノモノ	收容定員 以上十人 ノモノ	收容定員 以上三十人 ノモノ	收容定員 以上五十人 ノモノ	收容定員 以上十人 ノモノ	收容定員 以上三十人 ノモノ	收容定員 以上五十人 ノモノ	收容定員 以上十人 ノモノ	收容定員 以上三十人 ノモノ	收容定員 以上五十人 ノモノ
外科																		
内科																		
一般																		
計																		

合計	小兒科	眼科	産婦人科	皮膚科	泌尿科	耳鼻科	齒科	其ノ他

一 診療科名中「一般」ノ欄ニハ二種以上ノ診療科ヲ有スル病院ヲ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第九六

私立病院

(何年)

其ノ一 病院數、患者收容定員、患者數

病院數	患者		入院患者延數
	收容定員	患者數	
	前年ヨリ越	本年入院退	院 在院中死亡 年末現在

廳名

一 本表ニハ年末ニ現在スル私立病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲グベシ

第一編 警務 第七章 召集及報告

二 本表私立病院中ニハ結核病院、精神病院、癲癩院、施療病院ヲ掲スベカラズ
 三 私立病院中公益法人ノ經營ニ係ルモノハ其ノ各項ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲グベシ(其ノ二之ニ做フ)
 四 私立病院ニシテ外國人ノ經營ニ係ルモノアルトキハ其ノ各項ヲ他ト區別シ「△」印ヲ附シテ掲グベシ(其ノ二之ニ做フ)
 五 傳染病患者收容定員、結核患者收容定員ハ他ト區別シ前者ニハ「×」印ヲ、後者ニハ「○」印ヲ附シテ之ヲ掲グベシ
 六 本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スベシ
 七 入院患者延數ハ「前年ヨリ越」本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

其ノ二 診療科別病院數

診療科別	市			部			町			部			村			部		
	收容定員 以上十人ノ ノ	收容定員 以上三十人ノ ノ	收容定員 以上五十人ノ ノ	收容定員 以上十人ノ ノ	收容定員 以上三十人ノ ノ	收容定員 以上五十人ノ ノ	收容定員 以上十人ノ ノ	收容定員 以上三十人ノ ノ	收容定員 以上五十人ノ ノ	收容定員 以上十人ノ ノ	收容定員 以上三十人ノ ノ	收容定員 以上五十人ノ ノ	收容定員 以上十人ノ ノ	收容定員 以上三十人ノ ノ	收容定員 以上五十人ノ ノ	收容定員 以上十人ノ ノ	收容定員 以上三十人ノ ノ	收容定員 以上五十人ノ ノ
科別																		
一般																		
內科																		
外科																		
小兒科																		
眼科																		
産婦人科																		
皮膚病花柳病泌尿生殖器病																		
耳鼻喉科																		
合計																		

一 診療科名中「一般」ノ欄ニハ二種以上ノ診療科ヲ有スル病院ヲ掲グベシ

商科	其他	合計

第九七 施療病院 (何年) 報告期翌年二月末日限

經營者別名	稱所在地	患者收容定員	患者數			入院患者延數
			前年ヨリ越	本年入院	退院	
			死亡	院中	年末現在	

一 本表ハ名稱ノ如何ニ拘ハラズ施療ヲ目的トスル施設(結核病院、癲癩養所、精神病院ヲ除ク)ニシテ一年中入院患者ノ延數凡ソ三分ノ二以上ニ對シテ施療ヲ行フト認メラレキモノヲ掲グベシ假令施設ナルモ施療患者數上記載合以下ナルモノハ之ヲ公私立病院表中ニ掲グベシ

二 本表ハ年末ニ現在スル病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲グベシ

三 經營者別ノ欄ニハ道、府、縣、市、町、村、私立等ノ別ヲ掲グベシ

四 外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スベシ

五 有料患者數ハ之ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲グベシ

六 本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スベシ

七 入院患者延數ハ「前年ヨリ越」本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

第九八 娼妓病院 (何年)

病 院 (年 末 現 在) 數	患者 收 容 定 員	入 院 患 者 數		同 上 延 人 員	廳 名
		前 年 ヨ リ 越 本 年 入 院	退 院 中 年 末 現 在		

- 一 傳染病患者收容定員ハ之ヲ他ト區別シ「△」印ヲ附シテ掲グベシ
- 二 行政執行法第三條ノ入院患者アルトキハ之ヲ他ト區別シ其ノ員數ニ「※」印ヲ附シテ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第九九 結核病院(結核療養所ヲ含ム) (何年)

經 營 者 別 名	稱 所 在 地	患者 收 容 定 員	患 者 數		入 院 患 者 延 數	廳 名
			前 年 ヨ リ 越 本 年 入 院	退 院 中 年 末 現 在		

- 一 本表ハ年末ニ現在スル病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲グベシ
- 二 經營者別ノ欄ニハ道、府、縣、市、町、村、私立等ノ別ヲ掲グベシ
- 三 外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スベシ

- 四 自費患者數ハ之ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲グベシ
- 五 本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ保ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スベシ
- 六 入院患者延數ハ「前年ヨリ越」本年入院ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

報告期翌年二月末日限

第一〇〇 精神病院 (何年)

經 營 者 別 名	稱 所 在 地	患者 收 容 定 員	患 者 數		入 院 患 者 延 數	廳 名
			前 年 ヨ リ 越 本 年 入 院	退 院 中 年 末 現 在		

- 一 本表ハ年末ニ現在スル精神病院ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲グベシ
- 二 經營者別ノ欄ニハ道、府、縣、市、町、村、私立等ノ別ヲ掲グベシ
- 三 外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スベシ
- 四 自費患者數ハ之ヲ他ト區別シ「※」印ヲ附シテ掲グベシ
- 五 本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ保ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スベシ
- 六 入院患者延數ハ「前年ヨリ越」本年入院ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

報告期翌年二月末日限

第一〇一 代用花柳病診療所 (何年)			
其ノ一 診療所數 (年末現在)			
其ノ二 診療患者數			
種別	微	毒淋	病軟性下疳
計			
延人員			
入院患者			
外來患者			

一 本表患者ハ代用花柳病診療所トシテ取扱ヒタル者ニ付調査スベシ
 二 一人ニシテ同時ニ二以上ノ疾病ヲ有スルモノハ之ヲ各項ニ記載シ最上位ノ項ヲ除キ其ノ他ノ項ニ「※」印ヲ附スベシ但シ此ノ場合「※」印ヲ附シタル數ハ合計中ニ算入スベカラズ

報告期翌年二月末日限

第一〇二 傳染病豫防法ニ依ル傳染病院、隔離病舎、隔離所及消毒所 (何年)			
其ノ一 傳染病院			
市ノ設立ニ係ルモノ	町村若ハ之ニ準ズベキモノノ設立ニ係ルモノ	町村組合若ハ之ニ準ズベキモノノ設立ニ係ルモノ	計
患者收容定員	患者收容定員	患者收容定員	患者收容定員
病院數	病院數	病院數	病院數
計			
患者收容定員			

其ノ二 隔離病舎			
市ノ設立ニ係ルモノ	町村若ハ之ニ準ズベキモノノ設立ニ係ルモノ	町村組合若ハ之ニ準ズベキモノノ設立ニ係ルモノ	計
患者收容定員	患者收容定員	患者收容定員	患者收容定員
病舎數	病舎數	病舎數	病舎數
計			
患者收容定員			
其ノ三 隔離所			
市ノ設立ニ係ルモノ	町村若ハ之ニ準ズベキモノノ設立ニ係ルモノ	町村組合若ハ之ニ準ズベキモノノ設立ニ係ルモノ	計
收容シ得ル人員	收容シ得ル人員	收容シ得ル人員	收容シ得ル人員
隔離所數	隔離所數	隔離所數	隔離所數
計			
收容シ得ル人員			
其ノ四 消毒所數			

一本表ニ記載ス可キ事項ハ總テ年末ノ調査トス

報告期翌年二月末日限

第一〇三 癩療養所(癩病院ヲ含ム) (何年)			
經營者別名	稱	所在地	患者收容定員
			前年
			本年入院
			退院
			在院中
			年末現在
			入院患者延數

- 一 本表ハ年末ニ現在スル療養所ニシテ患者收容定員十人以上ノモノヲ掲グベシ
 二 經營者別ノ欄ニハ道、府、縣、市、町、村、私立等ノ別ヲ掲グベシ
 三 外國人ノ經營スルモノアルトキハ經營者別ノ欄ニ更ニ其ノ經營者ノ國籍ヲ記スベシ
 四 患者中費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔スルモノハ其ノ員數ヲ他ト區別シ※印ヲ附シテ掲グベシ
 五 本表ノ「前年ヨリ越」患者數ニシテ前年報告ニ係ル「年末現在」患者數ト相違スルトキハ其ノ理由ヲ附記スベシ
 六 入院患者延數ハ「前年ヨリ越」「本年入院」ノ二者ヲ合シタルモノノ延數トス

報告期翌年二月末日限

第一〇三(二) 病院ニ非ザル診療所 (何年十二月三十一日現在)

市部	醫師ノ開設スルモノ	公共團體ノ開設スルモノ	醫師ニ非ザル者ノ開設スルモノ	合	計	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	計

町部	合計	村部	合計

報告期翌年二月末日限

第一〇三(三) 病院ニ非ザル齒科診療所 (何年十二月三十一日現在)

市部	齒科醫師ノ開設スルモノ	公共團體ノ開設スルモノ	齒科醫師ニ非ザル者ノ開設スルモノ	合	計	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	患者收容施設患者收容施設ヲ有スルモノ有セザルモノ	計

第一〇四 賣藥 (何年)

製 造 者 數	其ノ一 營業者數		計	輪移入營業者數	賣藥請賣 營業者數	賣藥行商者數
	藥劑師 獸醫師及 用スルモノ	藥劑師ヲ使 用スルモノ				
	十四條ニ依 ル營業者	賣藥法第二 十五條ニ依 ル營業者				
其ノ二 製造及輪移入免許方數						
其ノ三 製造及輪移入額						

報告期翌年二月末日限

- 一 營業者數及製造輪移入免許方數ハ年末現在ヲ掲グベシ
- 二 製造營業者ニシテ輪移入營業ヲ兼ムル者ハ之ヲ製造營業者中ニ合算シ輪移入販賣ノミヲ爲ス者ハ「輪移入營業者數」ノ欄ニ掲グベシ
- 三 賣藥行商者ノ使用スル賣子ノ數ニハ「※印」ヲ附シテ之ヲ賣藥行商者數ノ欄ニ記入スベシ
- 四 製造及輪移入額ハ小賣價格ヲ以テ其ノ年中ノ製造及輪移入高ヲ掲グベシ
- 五 輪移入免許方數及輪移入額ニハ「※印」ヲ附シテ之ヲ別記スベシ

報告期翌年二月末日限

第一〇五 賣藥檢査成績 (何年)	檢査スベキ箇所數	檢査シタル箇所數	違反發見件數	處 罰 數	處 名

第一〇六 藥品巡視成績 (何年)

種 別	巡視スベキ箇所數	巡視シタル箇所數	箇 不 良 藥 品 發 見 數	規則違反處罰數	處 名		
						藥劑師 藥局ヲ開設スル 者 其ノ他	藥劑師ニ非ザル者ノ開設 スル藥局

報告期翌年二月末日限

一 同一箇所ヲ二回以上巡視シタルトキハ其ノ延數ヲ掲グベシ

報告期翌年二月末日限

第一〇九 痘苗、血清其ノ他細菌學的豫防治療品		（何年）		（何年）		（何年）	
種別	輸出入數量	移出數量	移入數量	輸入數量	移出數量	移入數量	輸入數量
痘苗							
血清							
何種							
何種							
何種							

一 本表ハ地方廳、市及明治三十六年内務省令第五號ニ依リ痘苗、血清其ノ他細菌學的豫防治療品製造販賣ノ認可ヲ受ケタル者ニ於テ製造販賣又ハ製造配付シタル數量ヲ掲グベシ但シ狂犬病豫防劑ニ付テハ地方廳ニ於テ使用シタル數量ヲ掲グベシ

二 本表ハ名稱ノ如何ニ拘ハラズ其ノ實質ニ依リテ分類記入スベシ例ヘバ丹毒連鎖狀球菌「ワクチン」丹毒治療液「ヤトレンカ」連鎖狀球菌「ワクチン」等ハ總テ之ヲ連鎖狀球菌「ワクチン」ノ欄ニ記入スルノ類ナリ

三 「コクチケン」ハ當該「ワクチン」ノ欄ニ記入スベシ

四 同一種「ワクチン」ニシテ豫防用ト治療用トアルモノハ其ノ別チ明カニ記スベシ

五 感作「ワクチン」ト加熱「ワクチン」ハ之ヲ區別スルコトヲ要セズ

報告期翌年二月末日限

第一一〇 藥種商其ノ他行政處分

第一一〇 藥種商其ノ他行政處分		（何年）		（何年）		（何年）	
種別	輸出入數量	移出數量	移入數量	輸入數量	移出數量	移入數量	輸入數量
痘苗							
血清							
何種							
何種							
何種							

一 計量單位ハ「痘苗、血清其ノ他細菌學的豫防治療品製造販賣、製造配付數」表ニ倣フベシ

報告期翌年二月末日限

種別	又ハ免許取消	一箇年以上	六箇月以上	三箇月以上	二箇月以上	二箇月未滿	計	禁止解除
藥種商								又ハ免許取消
製藥者								
產婆								
看護婦								
看護人								
鍼術業者								
灸術業者								
按摩術業者								

第一一一 食肉輸入検査成績		（何年）		（何年）		（何年）	
輸移出地名	検査肉量	鮮牛肉	冷牛肉	凍牛肉	綿羊肉	山羊肉	豚肉
朝鮮	不合格肉量	キログラム	キログラム	キログラム	キログラム	キログラム	キログラム
臺灣							
臺							

支那	英吉利	加奈陀	其他	亞米利加合衆國	佛蘭西	露西亞	計
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

一 二港以上ニ於テ検査ヲ施行スル府縣ニ於テハ本表ヲ其ノ港別ニ調製スベシ

報告期翌年三月十五日限

第一一二 恐水病及狂犬病 (何年)

廳名

其ノ一 恐水病患者發生數其ノ他

恐水病患者發生數 狂犬ニ咬傷セラレタル人員

豫防注射ヲ受ケタル人員
狂犬ニ咬傷セラレタル者 其ノ他

一 狂犬以外ノ狂犬病獸ニ咬傷セラレタル者アルトキハ其ノ員數ニ「※」印ヲ附シテ「狂犬ニ咬傷セラレタル人員」欄中ニ別ニ記入スベシ、豫防注射ヲ受ケタル人員ニ就テモ之ニ倣フ

二 豫防注射ヲ受ケタル人員中狂犬病獸ニ咬傷セラレタル者ハ豫防注射ヲ終了シタルモノニ限り之ヲ記入スベシ若シ豫防注射翌年ニ渉ル者アルトキハ其ノ終了ヲ俟テ本表ニ記入スベシ

三 「豫防注射ヲ受ケタル人員其ノ他」ノ欄ニハ狂犬病獸ニ非ザルモノ又ハ狂犬病獸ニ疑ハシキモノニ咬傷セラレ豫防注射ヲ受ケタル者ヲ記入スベシ但シ注射ヲ終了シタル者タルコトヲ要セズ

其ノ二 狂犬病發生數

犬	牛	馬	豚	羊	其ノ他	計

報告期翌年五月末日限

第一一三 水道 (何年十二月三十一日現在)

水道名	水源設備		送水設備		貯水設備		浄水設備		配水設備		給水人口	
	種類	取水量 月別 取	種類	送水量 月別 送	貯水量 最大 貯	浄水能力 月別 浄水 量	配水池、 塔、槽 及 配水幹 線ノ配 水能力	配水 月別 配 水量	計畫上 ノ給水 人口	計畫上 ノ一日 最大 給水 量	實際 ノ給水 人口	一年間 ノ給水 量
何市	何町	何村	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々
	毎立方 米毎 秒	立方 米	毎立方 米毎 秒	立方 米	立方 米	立方 米 日	立方 米	立方 米	立方 米	立方 米	立方 米	立方 米

一 本表ハ昭和四年十一月内閣告示第五號第六ニ指定スル水道ニ付記載シ二通提出スベシ
 二 本表中淨水設備ノ項ニ於テ滅菌裝置アル場合ニ於テハ其ノ種類ヲ附記スベシ
 三 取水能力、送水能力、配水幹線ノ配水能力ハ一秒時ノ能力及濾過能力ハ一日ノ能力トス

水道圖

一 昭和四年十一月内閣告示第五號第六ニ指定スル水道ニ付同告示第七ニ依リ作成シ二通提出スベシ
 二 東京市及其ノ附近、横濱市及其ノ附近(川崎市ヲ含ム)大阪市及其ノ附近(堺市ヲ含ム)神戸市及其ノ附近(尼崎市及西宮市ヲ含ム)ハ一表ニ記入スベシ

報告期翌年五月底限

〔山梨警〕

第一一四 病院 (何年十二月三十一日現在)

官公私立ノ區別	名	稱	所	在	診療科名	患者收容定員	專屬醫師數	「レントゲン」設備ノ有無	廳名
---------	---	---	---	---	------	--------	-------	--------------	----

- 一 本表ニハ患者收容定員十人以上ノ病院(軍用ノモ)ヲ記載シ四通提出スベシ
- 二 二種以上ノ診療科アルモノハ凡テ其ノ科名ヲ列記スベシ
- 三 「レントゲン」設備アルモノハ其ノ數ヲ掲グベシ

警察報告例規

明治三十一年六月 山梨縣訓令第六十二號

改正 大正一四年二月訓令甲第二號、昭和三年一月訓令乙第二號、五年六月第九八號、六年一〇月第一五九號、八年二月第九九號、九年一月第二〇四號

- 第一條 警察報告ハ勉メテ調査ヲ精確ニシテ其期ヲ愆ラザルヲ要ス
- 第二條 警察報告ヲ分チテ即報月報年報ノ三種トス但特別ノ規程アルモノハ各其規程ニ從フ
- 第三條 即報事項ハ其輕重緩急ニ隨ヒ電報郵便夫又ハ郵便ヲ以テ知事ニ報告スベシ
- 第四條 削除
- 第五條 月報年報ハ別ニ添書ヲ要セズ其初葉ノ欄外ニ通達ノ番號及月日ヲ記シ署長捺印スベシ
- 第六條 報告用紙ハ通常用半紙判トス其縮少シ得ベキモノハ半葉紙ニ調製スルモ妨ガナシ但シ別ニ規程アルモノハ各其規程ニ從フ
- 第七條 報告表中前月又ハ前年ト比較シ著シキ増減アルモノハ表尾ニ其事由ヲ附記スベシ
- 第八條 數位金員ハ厘位ニ量數ハ合位ニ坪數ハ才位ニ段別ハ歩位ニ止メ各一位ニ「、」ヲ附シ傍ラニ圓石坪段ノ字ヲ記載シ每位ノ千位ニ及フモノハ「、」ヲ附記スベシ
- 第九條 報告表中登記スベキ事項ナキ欄ハ縱線ヲ充實シ脱漏ニアラザルヲ證スベシ但表中登記事項更ニナキトキハ其旨(製表ニ及バズ)報告スベシ
- 第十條 報告ノ種別左ノ如シ

〔山梨警〕

- 第一 官吏、公吏、議員(村會議員ヲ除ク)銀行會社役員等ノ犯罪及其ノ自殺、誤死
- 第二 風水震雷ノ變災ニ罹リタル人畜死傷家屋破壞田圃橫流山岳崩壞又ハ山嶽鳴動及落雷ノ狀況
- 第三 河水増水シテ水害ノ模様アルトキ又ハ道路橋梁ノ交通斷絶シタルトキ其ノ實況
- 第四 難破船アリタルトキ其ノ日時場所乘組人員ノ死傷積荷及難船ノ狀況
- 第五 人畜傳染病發生シタルトキ其ノ原因傳染ノ狀況並ニ豫防救治實施ノ模様
- 第六 田圃蟲害アリタルトキ其ノ場所及狀況
- 第七 警察官吏、軍人ニ對スル事故ノ顛末
- 第八 警察官吏職務上ノ疾病負傷並ニ警察上死傷セシモノノ住所氏名及其ノ原因狀況
- 第九 警察官吏ニ於テ正當防衛等ノ爲メ拔劍シタルトキ其ノ顛末
- 第一〇 貯藏所汽罐等ノ爆發事故
- 第一一 災害取調表
- 第一二 以上各項ノ外警察上必要ト認ムル事項
- 年報
- 第一三 警察官吏職務上ノ傷疾疾病(附消防組員等警察上ノ死傷)
- 第一四 各署文書員數
- 第一五 警察職員兵役關係者數
- 第一六 火災
- 第一七 火災原因

- 第一八 精神病者
- 第一九ノ(一) 警察取締營業者其他
- 第一九ノ(二) 賈屋調
- 第一九ノ(三) 劇場調
- 第一九ノ(四) 寄席調
- 第一九ノ(五) 活動寫眞興行調
- 第一九ノ(六) 觀物場調
- 第一九ノ(七) 遊藝稼人其他調ノ一
- 第一九ノ(八) 遊藝稼人其他調ノ二
- 第一九ノ(九) 遊藝稼人其他調ノ三
- 第一九ノ(十) 藝妓年齡別調
- 第一九ノ(十一) 藝妓就業年數調
- 第一九ノ(十二) 遊廓調
- 第一九ノ(十三) 娼妓就業年數調
- 第一九ノ(十四) 娼妓年齡別調
- 第二〇 消防組及組員
- 第二一 消防機械器具及施設
- 第二二 消防組員教育別
- 第二三ノ(一) 消防組員兵役關係
- 第二三ノ(二) 消防組員名譽職關係
- 第二三ノ(三) 消防組員年齡別
- 第二三ノ(四) 消防組員職階別
- 第二三ノ(五) 消防組員兵役關係者
- 第二四 消防組員兵役關係者
- 第二五 自動車運轉者

〔山梨警〕

- 第二六 諸車
- 第二七 遺失物及拾得物
- 第二八 未成年者喫煙禁止法違反飲酒禁止法違反
- 第二九 行政執行法第一條ニ依ル處分
- 第三〇 乘合自動車營業
- 第三一 自動自轉車
- 第三二乃至第四八 削除
- 第四九 火藥類爆發ノ災害事故
- 第五〇 火藥類盜難件數
- 第五一 火藥類盜犯檢舉件數
- 第五二 火藥類盜犯人ノ職業別及盜取目的物
- 第五三 銃砲火藥類取締法令違反
- 第五四 火藥類爆發盜難以外ノ事故
- 第五五 銃砲製造高
- 第五六 銃砲販賣高
- 第五七 火藥類製造高
- 第五八 火藥類販賣高
- 第五九 火藥類消費數量
- 第六〇 仕込刀劍其他變裝或器製造高
- 六一 仕込刀劍其他變裝或器販賣高
- 六二 拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍其他携帶者
- 六三 壓縮瓦斯及液化瓦斯製造事業
- 六四 壓縮瓦斯及液化瓦斯製造量
- 六五 壓縮瓦斯及液化瓦斯製造業者所有容器
- 六六 壓縮瓦斯及液化瓦斯災害

第一編 警務 第七章 召集及報告

- 第六七 匿跡瓦斯及液化瓦斯法令違反
- 第六八 犯罪發生並檢事件數
- 第六九 自殺者ノ月別及所爲
- 第七〇 自殺者ノ年別及因由
- 第七一 自殺者ノ住所及緣事上ノ關係
- 第七二 被殺傷者
- 第七三 災害其他ノ事故
- 第七四 棄兒年別
- 第七五 假出獄及假出場
- 第七六 令狀執行押送及留置人員
- 第七七 山梨縣警察犯即決事件年表(一乃至四)
- 第七八 不良少年調査(一乃至二)
- 第七九 連警罪即決處分及正式裁判數
- 第八〇 密賣淫檢舉人員及健康診斷結果
- 第八一 傳染病患者死者
- 第八二 中毒
- 第八三 牛乳
- 第八四 山羊乳
- 第八五 清涼飲料水(其一其二)
- 第八六 氷雪
- 第八七 屠場及屠畜(其一乃至其ノ六)

- 第八八 飲食物其他ノ物品檢査成績
- 第八九 娼妓健康診斷(其一其二)
- 第九〇 藥劑師
- 第九一 藥局
- 第九二 藥業者
- 第九三 看護婦及看護人
- 第九四 鍼灸術按摩術業者
- 九五 公立病院
- 第九六 私立病院
- 第九七 施療病院
- 第九八 娼妓病院
- 九九 結核病院
- 一〇〇 精神病院
- 一〇一 代用花柳病診療所
- 一〇二 傳染病預防法ニ依ル傳染病院隔離病舎隔離所及消毒所
- 一〇三 癩療養所
- 一〇四 賣藥
- 一〇五 藥種商其他行政處分
- 一〇六 恐水病及狂犬病
- 一〇七 病院
- 十一條 前條即報、年報ノ諸表ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

第一〇 貯藏所、汽罐等ノ爆發事故

(何年何月何日)

爆發料品ノ名稱

[山梨縣]

[山梨縣]

爆發ノ原因	市街地建築物法ニ依ル地域名	損害見積額	爆發ニ因ル附近被害ノ程度
-------	---------------	-------	--------------

一、本表ハ貯藏所(危險料品)汽罐(其ノ他内壓力ヲ有スル容器ヲ含ム)等ノ爆發ニ付調査スルモノトス

記載例
 爆發料品ノ名稱 煙火
 爆發ノ原因 自然發火
 市街地建築物法ニ依ル地域名 工業地域
 損害見積額 約五萬圓
 爆發ニ因ル附近被害ノ程度 建坪二十坪ノ家屋倒潰、附近三町四方ノ硝子戸破壊

報告期災害後五日以内

第一 [災取調] (昭和 年 月 日分)

警察署

市郡町村名	人			世帯計	家				屋(棟數)	流失區域面積	損害見積額
	死	傷	不明		別	全潰	半潰	流失			
					住家	非住家	住家	非住家			

第一編 警務 第七章 召集及報告

備考	合計	住家		非住家		住家		非住家	
		住家	非住家	住家	非住家	住家	非住家		

一、本表ハ罹災世帯百世帯以上(都市計畫區域内ニ在リテハ二十戸以上)特ニ注意ヲ要スト認メラレル水火震災其他ノ災害ニ關スル取調様式トス但シ森林火災又ハ特種建物ノ災害等ニシテ本表ニ依ルノ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

二、埋没等アリタル場合ハ適宜其ノ欄ヲ増加スヘシ

三、市郡町村ノ欄ニハ大災害ニシテ其ノ被害ノ廣大ナル場合ハ單ニ市郡名ノミヲ記載シ市郡内一部ノ災害ニ係ル場合ハ市郡町村名ヲ記載スヘシ

四、本表備考欄ニ左記事項ヲ掲記スヘシ但シ焼失區域圖ハ可成陸地測量部縮尺大ナル圖面ニ當時ノ風向及火元ヲ明記スヘシ

一、出火原因
二、火元戸主ノ職業
三、市街地建築物法ニ依ル地域名
四、焼失區域圖

五、罹災地ニ對スル處置(例、整理事業計畫中又ハ建築線ヲ指定スル爲メ目下調査中若クハ關係土地所有者ニ對シ土地區劃整理ノ施行方ヲ急派中等)

〔山梨警〕

一、世帯數ハ普通世帯及準世帯ノ數ヲ計上スルコト
二、普通世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ
一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦同シ
住居ヲ共ニスルモ別ニ家計ヲ立ツルモノ及家計ヲ共ニスルモ住居ヲ異ニスル者ハ各一ノ普通世帯トス
三、寄宿舎、病院、旅店、下宿屋其他他家計ヲ共ニセサル者ノ集合スル場屋ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセサルモノハ一場屋毎ニ一世帯ニ準ス
四、一世帯ニ屬スル建物カ母屋、離屋、納屋又ハ物置等數棟ニ互ル場合ニ於テ其ノ内ノ一棟ノミ罹災シタル場合ト雖モ罹災世帯數中ニ掲記スルコト

記載例

〔山梨警〕

第一項 世帯數

記載例

一、世帯數ハ普通世帯及準世帯ノ數ヲ計上スルコト

二、普通世帯トハ住居及家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ
一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦同シ
住居ヲ共ニスルモ別ニ家計ヲ立ツルモノ及家計ヲ共ニスルモ住居ヲ異ニスル者ハ各一ノ普通世帯トス

三、寄宿舎、病院、旅店、下宿屋其他他家計ヲ共ニセサル者ノ集合スル場屋ニ在ル者ニシテ其ノ家計ヲ共ニセサルモノハ一場屋毎ニ一世帯ニ準ス

四、一世帯ニ屬スル建物カ母屋、離屋、納屋又ハ物置等數棟ニ互ル場合ニ於テ其ノ内ノ一棟ノミ罹災シタル場合ト雖モ罹災世帯數中ニ掲記スルコト

五、前號ノ場合ヲ除クノ外非現住ノ住家、非住家等ニ付テハ罹災世帯數トシテ掲記セズ單ニ家屋被害欄ニノミ記入スルコト

第二項 住家

住家トシテ算スヘキモノハ大要左ノ如シ

一、人ノ居住ニ充ツル目的(現住、非現住ヲ問ハス)トスル建物

二、人ノ收容ヲ目的トスル建物及之ニ準スヘキモノ

(一) 官公署廳舎

(二) 學校、圖書館

(三) 神社、佛閣(堂守其他ノ監守者アルモノ)

(四) 教會、説教所ノ類

(五) 公會堂其他公共ノ用ニ供セラルル建物

(六) 銀行、會社、法人等ノ事務所又ハ營業所

第一編 警務

第七章 召集及報告

第五項 全半燒

全半燒ノ區別標準ハ大要左ノ如シ

一、可燃性物ヲ主要材料トスル建物
修補(小修繕ニテ足ルモノヲ除ク)ニ依リ再使用ニ堪フル程度ノ燒失ヲ半燒、再使用ニ堪ヘサル程度ノ燒失ヲ全燒トス

二、不燃性物ヲ主要材料トスル建物
不燃性ノ部分ヲ除キタル他ノ部分(雜作、家具、商品等)カ三分ノ二以上燒失シタルトキヲ全燒、右ニ達セサル燒失ヲ半燒トス但シ三分ノ二以下ノ燒失ナルモ罹災ニ依リ建物カ修補ニ依ルモ再使用ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ全燒トス

三、一世帯ニ屬スル建物數棟ニ互ルトキハ世帯ノ全半燒ハ其ノ住居ニ充ツル主ナル建物ノ全半燒ノ別ニ依ル

全半燒

全半燒ノ區別標準ハ大要左ノ如シ

一、可燃性物ヲ主要材料トスル建物
修補(小修繕ニテ足ルモノヲ除ク)ニ依リ再使用ニ堪フル程度ノ燒失ヲ半燒、再使用ニ堪ヘサル程度ノ燒失ヲ全燒トス

二、不燃性物ヲ主要材料トスル建物
不燃性ノ部分ヲ除キタル他ノ部分(雜作、家具、商品等)カ三分ノ二以上燒失シタルトキヲ全燒、右ニ達セサル燒失ヲ半燒トス但シ三分ノ二以下ノ燒失ナルモ罹災ニ依リ建物カ修補ニ依ルモ再使用ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ全燒トス

三、一世帯ニ屬スル建物數棟ニ互ルトキハ世帯ノ全半燒ハ其ノ住居ニ充ツル主ナル建物ノ全半燒ノ別ニ依ル

全半燒

第一編 警務 第七章 召集及報告

一、修補(小修繕ニテ足ルモノヲ除ク)ニ依リ使用ニ堪ヘ得ル程度ノ倒潰ヲ半潰、使用ニ堪ヘサル程度ノ倒潰ヲ全潰トス
 二、一世帯ニ屬スル建物敷棟ニ互ル時ハ世帯ノ全半潰ハ其ノ住居ニ充ツル主タル建物ノ全半潰ノ別ニ依ル

第六項 棟數

棟數ハ獨立セル建物毎ニ計算ス但シ渡廊下等ニ依リ接続スルモノニシテ其ノ主タル梁ノ接続ナキ建物ハ之ヲ各別棟ト見做ス

第七項 損害見積額調査範圍

本表ニ掲グル損害見積額ハ通例左記範圍ニ付キ調査スルコト
 道路、橋梁、河川、堤防、上下水道、田畑等ノ損害額ハ之ヲ含メサルコト

一、建物

二、家財(官公署、會社等ノ什器、什物工場ノ設備ヲ含ム)
 三、商品、在庫品
 四、農作物
 五、現金、有價證券(有價證券ニシテ再發行可能ノモノヲ除ク)
 六、森林
 第八項 損害見積額ノ算定
 一、建物ニ付テハ全焼又ハ全潰ノ場合ハ建坪ニ依リ災害當時ノ時價ヲ標準トシテ計算シ半焼又ハ半潰ノ場合ハ災害前有セシ價額ヨリ災害後殘存セル價格ヲ差引タル差額ヲ掲グルコト
 二、家財、商品、在庫品、農作物、有價證券ニ付テハ時價ニ依ルコト
 三、森林ニ付テハ災害前有セシ價格ヨリ災害後ニ殘存セル價格ヲ差引キタル差額ヲ掲グルコト

報告期日翌年一月二十日限

第一三		警察官吏職務上ノ傷喪疾病 (附消防組員等警察上ノ死傷)				(昭和 年)				警察署													
種別	別	警察部長		警視部		警部補		巡査部長		巡査													
		傷	死	傷	死	傷	死	傷	死	計	消防組員												
犯罪人逮捕	傷																						
暴行又ハ發狂者等取押	傷																						
囚人刑事被告人被疑者ノ押送又ハ同行	傷																						
	死																						
	計																						
	計																						

〔山梨警〕

〔山梨警〕

種別	第一四	各署文書員數		(昭和 年)		受	發	送
		傷	死	傷	死			
水火災警戒	傷							
防 禦	死							
人命救助	傷							
傳染病豫防	死							
救 治	傷							
演 武 中	死							
其 他	傷							
合 計	死							
	傷							

一、本表記載ノ外防疫官、防疫官補、防疫員、防疫官吏、市町村吏員、市町村醫、衛生組合職員、看護婦等其ノ他職務上傳染病豫防救治ニ從事シ感染シタル者アルトキハ其ノ官職氏名毎ニ目ヲ設ケ記入スヘシ但シ雜役人夫ノ類ハ人民ノ欄ニ記入スヘシ
 二、技師ニシテ死傷セシ者アルトキハ警視ノ欄ニ技師及衛生醫ニシテ同上ノ者アルトキハ警部ノ欄ニ夫々×印ヲ附シテ記入スヘシ

報告期日一月末日限

警察署

第一編 警務 第七章 召集及報告

合	雜	人民			學校病院 銀行會社	管内					郵便 電信局	府	裁判所	師團	關省
		指	指	願		其	郡市町村役場	警署	警察部	刑務所					
計		令			他										

〔山梨警〕

〔山梨警〕

第一五 警察職員兵役關係者數

(昭和 年十二月三十一日現在)

報告期日二月末日限

官名	警視	警部	警部	警部	計	既		關		海軍關係者	計	
						飛行兵及氣球兵	鐵道兵	電信兵	戰車兵			自動車

- 一、歸休兵、豫備兵、後備兵及補充兵ニ限リ兵役關係者トシテ記載スヘシ
- 二、自動車手ハ各兵科ニ屬スル者ノ中自動車ノ運轉ニ關スル教育ヲ受ケタル者ヲ記載スヘシ
- 三、其他ノ欄ニハ列記外ノ各兵科ニ屬スルモノヲ掲記スヘシ
- 四、海軍關係者ニハ各兵科ニ屬スルモノヲ一括シテ掲クヘシ

昭和 年 月 日進達 報告期翌年一月末日限

第一六

火災 (昭和 年)

度	種別	日進達														
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
合	其不放失															
	ノ害															
	計他火火火															

警察署

損害見積(圓)	人		世帯		屋		家			數	
	行	傷	死	合	半	全	燒失建坪(平方メ)	計合		中掲上	
								半全	燒燒	直延	延燒
	計	計	計	計	計	計	燒燒	燒燒	燒燒	燒燒	燒燒

一、本表ハ「災取調表記載例ニ依ルヘシ」
 二、不審火欄ニハ原因不明ノモノヲ掲ケ其ノ他ノ欄ニハ失火、放火ニ非ラスシテ原因ノ判明セルモノ例ヘハ落雷、立木ノ摩擦、藥品、漏電、
 燐等ノ自然發火ニ因ルモノヲ掲ケヘシ
 三、延燒、不延燒ノ區別

〔山梨警〕

〔山梨警〕

自家ヨリ發火シ他家ニ燒ケ移リタル場合ヲ延燒トシ、自家ヨリ發火シ自家構内ノ家屋ニ燒ケ移リタルモ他家ニ燒ケ移ラサル場合ヲ不延燒トス

(イ) 出火世帯(非現住ノ住家及非住家ニ在リテ)ヨリ他ノ世帯(又ハ場屋)ニ燒ケ移リタル場合ハ延燒トシ出火世帯(又ハ場屋)ノミノ燒失ニ止マルヲ不延燒トス但シ貸間、下宿屋、寄宿舎等出火世帯(又ハ場屋)ト同一間口又ハ同一構内ニ在ル普通世帯、準世帯(又ハ場屋)ハ右ノ場合ニ限リ之ヲ出火世帯ト同一世帯(又ハ場屋)ト看做ス

(ロ) 「ビルディング」、「アパートメント」又ハ之ニ類スル建物内ニ於テ甲世帯(又ハ甲室)ヨリ乙世帯(又ハ乙室)ニ燒ケ移リタル場合亦(イ)但書ニ準シ之ヲ不延燒トス

(ハ) 山林ヨリ世帯(又ハ場屋)ニ燒ケ移リタル場合ハ之ヲ不延燒トス但シ其ノ世帯(又ハ場屋)ヨリ更ニ他ヘ燒ケ移リタル場合ハ之ヲ延燒トス

四、傷ノ程度ハ相當醫藥ヲ要スヘキモノニ付調査スヘシ

五、消防ノ爲メ家屋ヲ破壊セル場合、全壊ハ全燒ノ欄ニ半壊ハ半燒ノ欄ニ夫々「X」印ヲ附シ外書スヘシ

六、損害見積額ニシテ圖以下ノ端數ハ各項ニ於テ四捨五入ノ法ヲ用井圓位ニ止ムヘシ

昭和 年 月 日 進達 報告期翌年一月末日限

警察署

原	火災原因 (昭和 年)												計			
	因		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月		十一月	十二月	
	市街地	村落	市街地	村落	市街地	村落	市街地	村落	市街地	村落	市街地	村落		市街地	村落	
使	行火炬燧	火 針														

過熱	煙草		燭		火								
	吸	殼	寸	燭	其ノ他	裸燭燭	神佛燈明	提燈	ランプ	其ノ他			
//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//

〔山梨管〕

失													
末		始		不		ノ		火		用		燧	
焚火	取灰	ストーブ	爐	風呂場	庭	乾燥場	火消壺	燧					
//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//

〔山梨管〕

セルロイド	油類				氣		行火炬燧	電燈
	火引	塗料	石油	ガソリン	其他	煤燧		
"	"	"	"	"	"	"	"	"

〔山梨管〕

電	新			瓦		汽車ノ煤燧	突飛火	破損
	其ノ他	煤燧	ストーブ	瓦新燧	瓦新燧			
"	"	"	"	"	"	"	"	"

〔山梨管〕

遊藝人	箱間	俳優	角瓶	湯屋	鎮泉浴場	理髮	變髮	代行政代書業	代司法代書業	牛馬商	貨席	口入周旋業	內務省令ニ依ル案内業	移民取扱業	信用告知業
印刷業	活版印刷業	各種請負業	水陸運送業	仲仕業	仲賣業	市場	墓地	火葬場	遊覽船營業	渡船營業	水夫(營業者ヲ除ク)	船體數	索道營業	自家用	駕籠馬車業

〔山梨警〕

瓦管業	新發給所	壓縮製造業	瓦斯販賣業	液化貯藏業	工場法適用工場敷	興劇場	寄席	活動寫真	觀物場	其他	銃砲射的場	遊技場	麻雀俱樂部	質屋	古物商	旅人宿
宿下宿	木賃宿	遊船宿	料理屋	飲食店	待合茶屋	エルフ及パイ管業	貨免許地	座免許地	引手茶屋	娼妓業(娼妓ヲ除ク)	娼妓業(娼妓ヲ除ク)	娼妓業(娼妓ヲ除ク)	娼妓業(娼妓ヲ除ク)	娼妓業(娼妓ヲ除ク)	遊藝師匠	遊藝師匠

〔山梨警〕

轉運特種	自			電車		電車		電車		人力		運荷及小搬物	
	普通	貨物	營業	乘用	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業

荷所所有者數	馬車		牛車		自轉車		電車		人力		運荷及小搬物	
	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業	營業

〔山梨警〕

客下宿	接族人宿			船送運		川渡		富士		車	
	男	女	男	船體數	船體數	船體數	船體數	船體數	船體數	船體數	船體數

業 者 備 人											
待合茶屋		飲食店		料理屋		木賃宿		女		男	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

〔山梨警〕

調査記載例

- 工場法適用工場敷ニハセルロイド、ペイントロニス、燐寸、レザー等各種製造工場ヲ除キタル他ノ各種工場ニシテ法ノ適用ヲ受クル工場ヲ一括計上スベシ
- 興行場中觀物場ニハ劇場、寄席、活動寫眞以外ノ興行物ノ常設ノモノヲ調査計上スベシ
- 麻雀俱樂部ハ其ノ組織俱樂部タルト否トヲ問ハズ全部ヲ計上スベシ
- カフェー及バーハ料理屋又ハ飲食店營業者カ之ヲ兼テ居ルモノハカフェー及バーノ項ニ朱書計上スベシ、又カフェー、バーノ女給ハ其ノ履給女ニシテ客席ニ侍シ酒間ノ斡旋ヲ廣ク業トスルモノヲ調査計上シ酌婦ハ之ヲ含マザルコト
- 代營業中行政、司法ノ兩方ヲ管ムモノニ在リテハ其ノ主ナル一方ヲ計上シ重複ヲ避ケベシ

第一編 警務 第七章 召集及報告

- 六、各種請負業ハ主トシテ土木建築請負ヲ業トスルモノヲ調査計上スベシ
- 七、火葬場ニハ火葬場トシテ相當構造設備ヲ有スルモノニ就キ調査計上スベシ
- 八、電車營業ニ付テハ其ノ管轄下ニ營業所(本社)ヲ置クモノニ就キ調査計上スベシ
- 九、自動車運輸營業ニシテ乗合、貸切ノ何レカ二種以上ヲ兼メルモノハ其ノ主タル一方ヲ調査計上スベシ
- 十、荷牛車、荷馬車、荷車ノ各車臺數ハ道路取締令第十二條及同令施行細則第七條ニ規定セルモノヲ調査計上スルモノトス

第一九〇(二) 質屋調

質屋數	入質件數	受質件數	流質件數	入質金額	受質金額	流質金額
				圓	圓	圓
				錢	錢	錢

- 一、本表中質屋數ハ年末現在數ヲ夫レ以下ハ其ノ年中ノ事實ヲ調査計上スベシ
- 二、質屋數ハ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト

第一九〇(三) 劇場調

劇場數	開場日數			觀客數		
	晝興行	夜興行	計	木戶	一幕限リ	計
常設						
臨時						
計						

- 一、本表劇場數中ノ常設ハ其ノ年末現在數ヲ夫レ以下ハ其ノ年中ノ事實ヲ調査計上スベシ

〔山梨警〕

〔山梨警〕

- 二、常設劇場數ハ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト
- 三、臨時劇場トハ假設又ハ民屋代用ノモノヲ云ヒ又開場日數ニ付テハ晝夜引續キ興行スルモノハ其ノ主タル一方ニ調査計上スベシ

第一九〇(四) 寄席調

寄席數	開場日數			入席人員
	晝興行	夜興行	計	
常設				
臨時				
計				

- 一、本表寄席數ノ常設ハ其ノ年末現在數ヲ、夫レ以下ハ其ノ年中ノ事實ヲ調査計上スベシ
- 二、寄席數中ノ常設數ハ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト
- 三、臨時ニハ假設又ハ民屋代用ノモノヲ云ヒ又開場日數ニ付テハ晝夜引續キ興行スルモノハ其ノ主タル一方ニ調査計上スルコト

第一九〇(五) 活動寫眞興行調

活動寫眞館數	開館日數			入場人員
	晝興行	夜興行	計	
常設				
臨時				
計				

第一編 警務 第七章 召集及報告

- 一、本表活動寫真館數ノ常設ハ其ノ年末現在數ヲ、夫レ以下ハ其ノ年中ノ事實ヲ調査計上スヘシ
- 二、活動寫真館數ノ常設ハ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト
- 三、臨時トハ假設又ハ民屋代用ノモノヲ云ヒ又開館日數ニ付テハ晝夜引續キ興行スルモノハ其ノ主タル一方ニ調査計上スヘシ

第一九〇(六) 觀物場調

觀物場數	開場日數		入場人員
	晝夜興行計	計	
常設	計	計	計
臨時	計	計	計

- 一、本表觀物場數中ノ常設ハ其ノ年末現在數ヲ、夫レ以下ハ其ノ年中ノ事實ヲ調査計上スヘシ
- 二、觀物場數中ノ常設ハ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト
- 三、臨時トハ假設又ハ民屋代用ノモノヲ云ヒ又開場日數ニ付テハ晝夜引續キ興行スルモノハ其ノ主タル一方ニ調査計上スヘシ

第一九〇(七) 遊藝稼人其他調ノ一

料理屋數	同上ノ内藝妓ノ出入スル料理屋數		待合茶屋數	飲食店數	同上ノ内藝妓ノ出入スル飲食店數		大	小	數	藝妓揚代金
	計	計			計	計				
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

- 一、料理屋、飲食店、待合茶屋、藝妓ノ數ハ共ニ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト
- 二、藝妓數ハ娼妓兼業ノモノヲ除外スルコト

〔山梨警〕

- 三、藝妓揚代金ハ其ノ年中ノ事實ヲ、其ノ他ハ年末現在數ヲ計上スヘシ
- 四、藝妓數ハ藝妓年齡別調ニ藝妓就業年數調ノ各計數トモ符合スルモノトス

〔山梨警〕

第一九〇(八) 遊藝稼人其他調ノ二

種別	計	遊藝師		遊藝稼人	
		男	女	男	女
踊					
三味線					
琴					
八尺					
薩摩琵琶					
筑前琵琶					
其他					
計					
義太夫					
落語					
講談					
浪花節					
源氏節					
法界節					
其他					
計					

- 一、本表ハ年末現在ヲ調査計上スヘシ
- 二、遊藝師匠、遊藝稼人ノ各計數ハ警察取締其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト

第一九〇(九) 遊藝稼人其他調ノ三

種別	計	箱		屋		俳		優		角	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
計											

- 一、本表ハ年末現在ヲ調査計上スヘシ
- 二、各計數ハ警察取締營業者其ノ他表中ノ夫レト符合スルコト

第一編 警務 第七章 召集及報告

第一九〇(十) 藝妓年齢別調

未十四歳	十四歳以上	十八歳以上	廿歳以上	廿五歳以上	卅歳以上	卅五歳以上	四十歳以上	四十五歳以上	五十歳以上	五十五歳以上	六十歳以上	計
未十八歳	未廿歳	未廿五歳	未卅歳	未卅五歳	未四十歳	未四十五歳	未五十歳	未五十五歳	未六十歳	以上		

- 一、本表ハ年末現在ヲ調査計上スヘシ但シ娼妓兼業ノモノヲ除ク
- 二、本表計數ハ警察取締營業者其ノ他表ノ夫レト及遊藝稼人其ノ他調ノ一ノ藝妓數ノ大小ノ計數並ニ藝妓就業年數調ノ各計數ト符合スルコト
- 三、十四歳未満ノ欄ニハ其ノ署管下ノ最低年齢ノ者ヲ調査計上スヘシ
假令ハ數名ノ藝妓中十三歳ノモノアルトキハ該當欄括弧内ニ十三歳ト記入其ノ數ヲ計上スルカ如シ

第一九一(十一) 藝妓就業年數調

一年未満	一年以上	三年以上	五年以上	七年以上	十年以上	十五年以上	二十年以上	二十五年以上	三十年未満	計
------	------	------	------	------	------	-------	-------	--------	-------	---

- 一、本表ハ年末現在ニ依ルヘシ但シ娼妓兼業ノモノヲ除ク
- 二、本表ノ計數ハ警察取締營業者其ノ他表ノ夫レ及遊藝稼人其ノ他調ノ一ノ藝妓大小並ニ藝妓年齢別調ノ各計數ト符合スルコト
- 三、就業年數三十年以上ノ就業者アルトキハ其ノ次餘白ニ五年毎ニ一欄ヲ設ケ計上スヘシ
- 四、藝妓廢業後更ニ藝妓稼業ヲ爲シタルモノ又ハ他ニ住替ヲ爲シタルモノ、就業年數ハ前後通算調査計上スヘシ

〔山梨管〕

〔山梨管〕

第一九二(十二) 遊廓調

者業營敷座貸	引手茶屋敷		藝妓兼業	座敷人	遊客數	娼妓揚代金	酒肴代金	引手茶屋所得	藝妓揚代金	計
	數	數								
男	女	計	男	女	計	所娼得	所營得	所營得	所營得	計

- 一、貸座敷營業者、引手茶屋、娼妓、藝妓兼業、貸座敷雇人ノ各數ハ年末現在ヲ、夫レ以下ハ其ノ年中ノ事實ヲ調査計上スヘシ
- 二、貸座敷營業者、引手茶屋、娼妓、藝妓兼業、各數ハ警察取締營業者其ノ他表ノ夫レト符合スルコト
- 三、貸座敷雇人ハ遊客ニ接スル者ノミヲ調査計上スヘシ
- 四、娼妓、藝妓兼業、各數ハ次表(娼妓稼業年數及同年齡)欄ノ各計數ト符合スルコト

第一九三(十三) 娼妓稼業年數調

種別	一年未満	一年以上	三年以上	五年以上	七年以上	十年以上	十五年以上	二十年以上	計
娼妓									
藝妓兼業									
計									

- 一、本表ハ年末現在ヲ調査計上スヘシ
- 二、本表計數ハ警察取締營業者其他表及遊廓調ノ各夫レト並ニ次表年齢別調ノ計數ト符合スルコト

三十五歳以上		三十五歳未満		合計
兵役關係者	兵役無關係者	兵役關係者	兵役無關係者	
陸軍	海軍	陸軍	海軍	合計
計	計	計	計	

備考

- 一、本表ノ合計數ハ第一九ノ(一)警察取締營業者其他ノ運轉者各數ヲ合セタルモノト符合スベキモノトス
- 二、兵役關係者中ニハ國民兵役ニ在ル者ヲ含マズ

昭和年月日進達 報告期翌年二月十日限

第二六	諸車	(昭和 年十二月末日現在)		警察署
區	城	荷馬車	牛車	手帳
	警察署			荷車
				計

備考

- 一、本表ハ道路取締令第十二條ノ諸車ヲ調査計上スベシ
- 二、本表ノ數ハ第一九ノ(一)警察取締營業者其ノ他ノ該當車輛各數ト符合スベキモノトス

昭和年月日進達 報告期翌年一月二十五日限

第二七 遺失物及拾得物 (昭和 年中)

警察署

〔山梨警〕

區	別	遺失拾得	還付	遺失者ニ付	拾得者ニ付	國庫歸屬	其ノ他	備考
通件	貨數							
物品								

備考

- 一、本調査ハ曆年ニ依ル
- 二、處分欄其ノ他ニ記載事項アルトキハ其ノ内譯ヲ備考ニ詳記スベシ、假令ハ期滿失效、無價物棄却處分等ナリ
- 三、通貨ハ圓位ニ止ム

昭和年月日進達 報告期翌年一月二十五日限

第二八	未成年者喫煙禁止法及飲酒禁止法違反	(昭和 年中)	警察署
區	別	說諭ニ止メタルモノ	器具沒收科罰金計
未成年者喫煙禁止法	違反		
未成年者飲酒禁止法	違反		

昭和年月日進達 報告期翌年一月二十五日限

第二九	行政執行法第一條ニ依ル處分	(昭和 年中)	警察署
區	別	檢	東
	男		
	女		
	計		
	假		
	罰		
	置		

第五五 銃砲製造高 (何年)										
種別	越	高	製	造	高	改	造	修	繕	高
軍用銃砲										
獵銃										
拳銃										
仕込銃										
空氣銃										
短銃										
計										

備考 空氣銃ハ銃砲火藥類取締法令ノ適用ヲ受ケルモノノミヲ掲グルコト

報告期翌年二月末日限 警察署

〔山梨警〕

第五六 銃砲販賣高 (何年)										
種別	越	高	讓	受	高	讓	渡	高	年	末
軍用銃砲										
獵銃										
拳銃										
仕込銃										
空氣銃										
其他										

備考 空氣銃ハ銃砲火藥類取締法令ノ適用ヲ受ケルモノノミヲ掲グルコト

報告期翌年二月末日限 警察署

〔山梨警〕

第五七 火藥類製造高 (何年)										
種別	越	高	製	造	高	變	形	修	理	高
火藥										
火藥										
爆藥										
導火線										
煙火										
工業用雷管										
其他										

備考 空氣銃ハ銃砲火藥類取締法令ノ適用ヲ受ケルモノノミヲ掲グルコト

報告期翌年二月末日限 警察署

第六〇 仕込刀劍其他變裝戎器製造高 (何年)

種別	越	高	製造	高	修繕	高	渡	高	年末	現在	高
仕込刀劍											
其ノ他變裝シタル戎器											

報告期翌年二月末日限

警察署

第六一 仕込刀劍其他變裝戎器販賣高 (何年)

種別	越	高	讓	受	高	讓	渡	高	年末	現在	高
仕込刀劍											
其ノ他變裝シタル戎器											

報告期翌年二月末日限

警察署

第六二 拳銃、短銃、仕込銃、仕込刀劍其他携帯者 (何年十二月三十一日現在)

種別	官公吏	商業	農業	礦夫	土工夫	請負業	會社員	教師	醫師
拳銃									
短銃									

報告期翌年二月末日限

警察署

〔山梨警〕

〔山梨警〕

仕込銃											
仕込刀劍											
其ノ他變裝シタル戎器											

備考 本表ハ銃砲火藥類取締法施行規則第三十九條ニ依リ許可シタル者ノ數ヲ掲グルコト

報告期翌年二月末日限

警察署

第六三 壓縮瓦斯及液化瓦斯製造事業 (何年十二月三十一日現在)

事業者名	製造所名	製造所所在地	製造開始年月日	事業投資額	備考

一、本表ニハ現存スルモノヲ全部記載ノコト
二、事業投資額ノ欄ニハ會社ニ在リテハ資本總額及拂込金額ヲ掲グルコト

報告期翌年二月末日限

警察署

第六四 壓縮瓦斯及液化瓦斯製造量 (何年)

製造所名	作業主任者名	製造種類	製造量	各瓦斯一日(二十四時間)ノ製造力	備考

	(化學)(田浦三郎)	(壓縮瓦斯)	(酸)	(素)	(立方米)	(立方米)
	(壓縮機)(池田一郎)	(液化瓦斯)	(炭)	(酸)	(瓶)	(瓶)

一、作業主任欄ニハ化學壓縮機各別ニ記入スルコト

() 内ハ記載例

二、製造量欄并ニ各瓦斯一日ノ製造能力欄記載ニ付テハ左記各項ニ依ルコト

(イ) 石灰窒素製造工場ニ在リテハ窒素ノ製造量及製造能力ヲ記入スルコト

(ロ) 固形炭酸(ドライアイス)製造工場ニ在リテハ液化炭酸ノ製造量及製造能力ヲ記入スルコト

(ハ) 合成酢酸製造工場ニ在リテハ酸素ノ製造量及製造能力ヲ記入スルコト

(ニ) 合成アムモニア製造工場ニ在リテハ水素、窒素及液化アムモニアノ製造量及製造能力ヲ各別ニ記入スルコト

報告期翌年二月末日限

第六五		壓縮瓦斯及液化瓦斯製造業者所有容器		(何年十二月三十一日現在)		警察署	
所有者名	充	種類名	瓦	新	稱	容器ノ瓦斯充填量	所有容器數
	種						

〔山梨警〕

〔山梨警〕

報告期翌年二月末日限

第六六		壓縮瓦斯及液化瓦斯災害		(何年)		警察署
災害發生ノ場所		發生年月日		被害ノ程度		發生ノ原因

報告期翌年二月末日限

第六七		壓縮瓦斯及液化瓦斯法令違反		(何年)		警察署
違反者名	違反事項	違反者名		違反事項		違反人員
		違反者名		違反事項		違反人員
違反者名		違反事項		違反人員		違反人員

報告期翌年一月末日限

第六八		犯罪發生並檢舉件數		(何年)		警察署
-----	--	-----------	--	------	--	-----

一、違反事項欄ニハ其ノ要領ヲ簡明ニ掲記スルコト
二、違反者法人ナルトキハ違反者名欄ニ法人ノ代表者名ヲ記載スルコト

罪名	發生件數		檢舉件數		
	本年事件	前年以前ノ事件	管内事件	管外事件	計
第一章 皇室ニ對スル罪					
第二章 内亂ニ關スル罪					
第三章 外患ニ對スル罪					
第四章 國交ニ關スル罪					
第五章 公務執行妨害罪					
第六章 逃走罪					
第七章 犯罪證據隠滅罪					
第八章 贓物隠滅罪					
第九章 放火罪					
第十章 溢水々利ニ關スル罪					
第十一章 往來ヲ妨害スル罪					
第十二章 住居ヲ侵スル罪					
第十三章 秘密ヲ侵スル罪					

〔山梨警〕

罪名	發生件數		檢舉件數		
	本年事件	前年以前ノ事件	管内事件	管外事件	計
第十四章 阿片煙ニ關スル罪					
第十五章 飲料水ニ關スル罪					
第十六章 通貨偽造ノ罪					
第十七章 文書偽造ノ罪					
第十八章 有貨證券偽造ノ罪					
第十九章 印章偽造ノ罪					
第二十章 偽證ノ罪					
第二十一章 誣告ノ罪					
第二十二章 (1) 強姦罪 (2) 強姦物罪 (3) 強姦(致死傷ヲ含ム)罪 (4) 姦通罪 (5) 重婚罪					
第二十三章 (1) 賭博罪 (2) 常習賭博罪 (3) 賭博					
第二十四章 禮拜所墳墓ニ關スル罪					

〔山梨警〕

